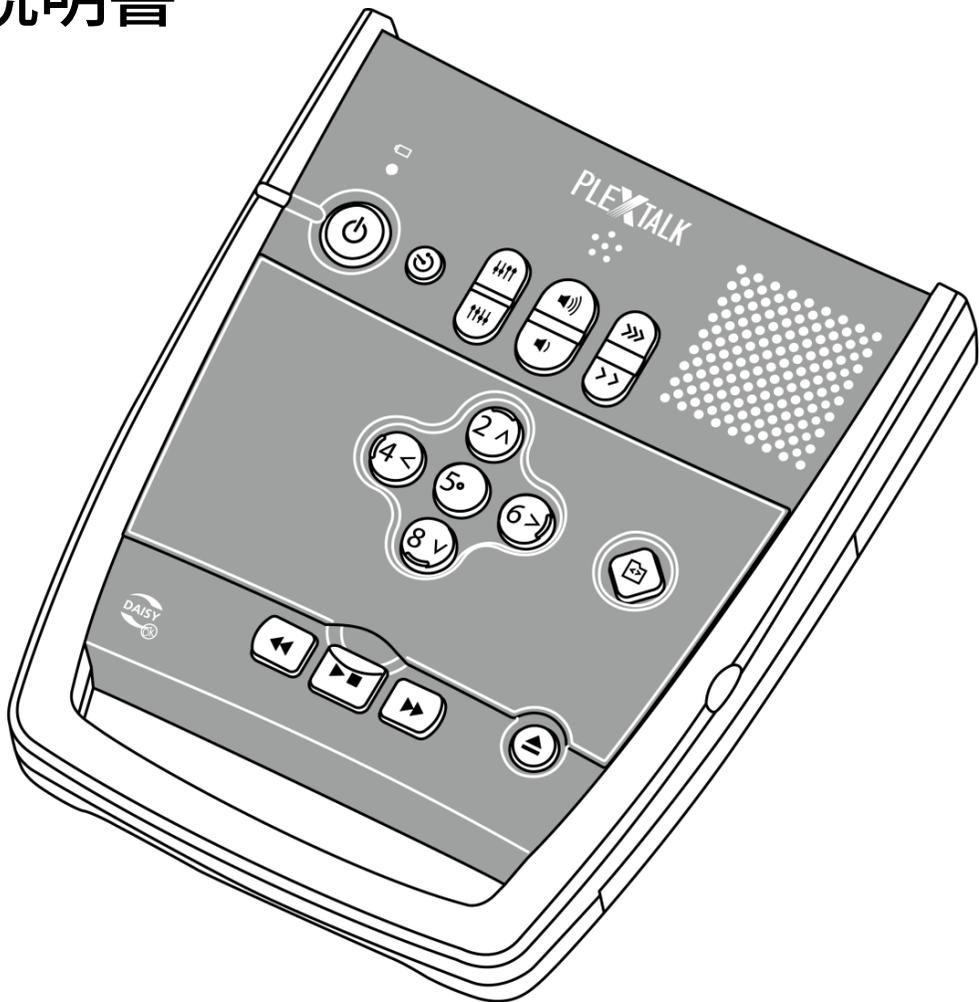


PLEX TALK

プレクストーク

P T N 3

取扱説明書



お買い上げいただきありがとうございます。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方が記されています。この取扱説明書をお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

© COPYRIGHT SHINANO KENSHI CO., Ltd. 2017



【ご注意】 指紋・傷・汚れのあるCDは読み取りが悪化します！

- ・指紋、傷、汚れが付いたCDは、正しく読み取れない場合があります。
- ・特にCD-RWでは読み取りできない場合があります。
- ・CDの記録面に指紋、傷、汚れを付けないよう、取り扱いにはご注意ください。

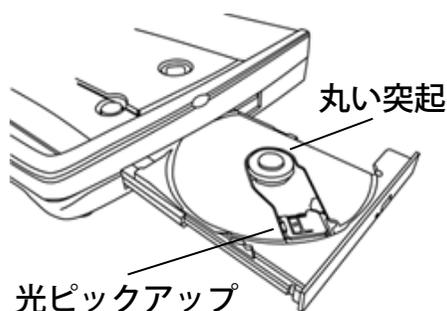
CDの持ち方

- ・CDを持つときは、記録面には触れないよう、上側から人差し指を中心にある穴に入れ、親指を外側の縁に当て、つまむように持ってください。
- ・記録面には、CD中央の穴の縁から1cm外側に同心円状のどっばりがあります。



CDを機器に装着する際の注意

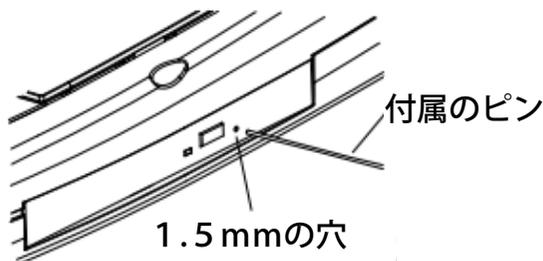
- ・CDドライブのトレイは、右方向に止まるまで完全に引き出してください。
- ・CDの中心をトレイ中央の突起に合わせます。
- ・CDの中心の穴を挟むように2本の指を当てます。「カチッ」という音がするまで押し込みます。
- ・CDがスムーズに回転することで、正しく装着されたことを確認してください。



※トレイ中央の丸い突起から右下方向に2cmの位置にある光ピックアップは触らないでください。

CDの強制排出方法

- ・本体の電源を切ってください。
- ・トレイのイジェクトボタンの奥側にある1.5mmの穴に付属のピンを、1cm程度まっすぐに差し込んでください。
- ・ロックが解除されたら、トレイを引き出してください。



※トレイが出ない場合などは、プレクストークお問い合わせ窓口までお問い合わせください。

目次

目次	4
1章 本製品の特徴	9
2章 お使いいただくための注意事項	10
2章1 安全にお使いいただくために（警告、注意）	10
2章2 使用許諾	15
2章3 その他注意事項	15
3章 はじめに	17
3章1 入っているものを確認しましょう	17
3章2 取扱説明書を開く	18
4章 各部の名称と働き	19
4章1 本体の形状	19
4章2 操作面（すっきりカバー装着時）	20
操作面 奥側のキー	20
操作面 中央のキー	21
操作面 手前のキー	22
4章3 操作面（すっきりカバー未装着時）	23
4章4 背面	26
4章5 底面	26
4章6 右側面	27
4章7 左側面	28
5章 基本操作	29
電源アダプターを接続する	29
電源をON/OFFする	29
CDを聴く	30
CDをバックアップする	30
バックアップしたものを聴く	31
6章 各種メディアの取り扱い方法	32
6章1 CDについて	32
CDの取り扱いについて	32
再生できるCD	32

CDを入れる・取り出す	33
6章2 SDカードについて	35
利用可能なSDカード	35
SDカードの形状	35
SDカードの入れ方	36
SDカードの取り出し方	36
書き込み禁止スイッチ	37
6章3 USB機器について	38
利用可能なUSB機器	38
USB機器の接続方法	39
USB機器の取り外し方	39
7章 DAISY図書を聴く	40
7章1 CDからDAISY図書を聴く	40
再生・停止する	40
送りキー・戻しキーを利用する	40
7章2 DAISY図書を便利に聴く	41
前後に移動して聴きたい場所を聴く	41
DAISY図書を繰り返し聴く	43
ダイレクト移動	44
移動を取り消す	45
7章3 タイトルを選択して聴く	46
タイトル選択を開始する	46
タイトルを簡単に選択する	46
タイトルを効率よく選択する	47
タイトルを直接選択する	50
タイトルの並び順の切り替え	51
タイトルの選択方法を変更して聴く	52
8章 音楽を聴く	55
8章1 音楽CDを聴く	55
前後に移動する	55
8章2 音楽（音声ファイル）を聴く	56
前後のアルバムやトラックなどに移動する	56
トラックやアルバムを番号で指定して移動する	57
再生方法を変更する（シャッフル・リピート設定）	58

お気に入りに登録して聴く	59
9章 テキストを聴く	62
9章1 テキスト内を移動して聴く	62
テキストファイル内を前後に移動して聴く	62
ダイレクト移動：パーセント移動	63
テキストファイルを繰り返し聴く	63
10章 オーディオブックを聴く	64
10章1 オーディオブックの移動単位	64
<前後に見出しや時間で移動する>	64
<ダイレクト移動する>	64
11章 おやすみタイマー	65
12章 機器の現在の情報を聴く	66
情報を聴く	66
現在の日時を確認する	67
13章 しおりを利用する	68
13章1 しおりを付ける	68
13章2 しおりの位置に移動する	69
前後のしおりの位置に移動する	69
番号を指定して移動する	70
13章3 しおりを削除する	70
しおりを削除する	70
選択中のタイトルのしおりを削除する	71
14章 図書や音楽などをバックアップする	72
14章1 「バックアップ」について	72
14章2 DAISY図書をバックアップする	73
DAISY図書をバックアップする	73
PTR2で再生できる形式でバックアップする	74
14章3 音楽をバックアップする	75
アルバムをバックアップする	75
トラックを選択してバックアップする	76
マイベストアルバムを聴く	78
14章4 バックアップ先に作られるフォルダ名	78
15章 タイトル・ファイルを削除する	79
16章 パソコンと接続する	80

16章1 本製品とパソコンをUSBケーブルで接続する	80
パソコンの動作環境	80
使用できるUSBケーブル	80
パソコンと接続する	80
データの転送	81
パソコンから取り外す	81
16章2 本製品とプレクストークポケット・	
プレクストークリンクポケットを接続する	82
使用するUSBケーブル	82
接続する	82
接続してできること	83
取り外す	83
17章 メニューから機器の設定を行う	84
17章1 メニュー 階層一覧	84
17章2 メニューの操作方法	85
17章3 タイトル管理	85
バックアップ	85
タイトル情報	85
タイトル選択	86
しおり	86
タイトル・アルバム削除	86
ファイル削除	86
17章4 再生設定	87
シャッフル・リピート設定	87
マルチメディア図書再生設定	87
飛ばし読み	88
17章5 メディア管理	89
メディア情報	89
メディアを全消去する	89
17章6 システム設定	90
ガイド音量の選択	90
ガイドスピードの選択	91
テキスト読み上げ音声の選択	91
待ち受け音の選択	91

キー受付音の選択	92
時計設定	92
テキスト読み上げの設定	93
バッテリーいたわりモード	93
バッテリーリフレッシュ	93
設定の初期化	95
17章7 メニューのショートカット	96
数字にメニュー項目を割り当てる	96
ショートカットを呼び出す	96
18章 バッテリー	97
18章1 バッテリー交換方法	97
18章2 バッテリーで動作させる	98
18章3 バッテリーに関する注意	99
19章 ファームウェアを更新する	101
20章 用語	102
20章1 キーワード	102
20章2 カテゴリー	102
20章3 メディア	103
20章4 DAISY	103
20章5 その他 用語解説	104
21章 故障かなと思ったら	106
21章1 症状と対応のしかた	106
21章2 よくある質問 Q&A	110
22章 仕様	111
23章 動作確認済メディア	114
24章 索引	115
25章 保証について	120
お問い合わせについて	128
プレクストークホームページについて	128

1 章 本製品の特徴

1) DAISY 図書を聴く

DAISY（デイジー）は、視覚障がい者や普通の印刷物を読むことが困難な人々の為に開発されたデジタル録音図書の規格です。DAISY 図書とは、この規格にそって製作された図書のことを言います。DAISY 図書は、デジタル録音されたデータに、見出しやページなどのしるしが付けられており、本製品は、そのしるしによって聴きたい箇所に素早く移動することができます。

2) 音楽を聴く

音楽を繰り返し再生やシャッフル再生などの再生方法で楽しめます。

3) DAISY 図書や音楽をバックアップする

DAISY 図書や音楽CDを、SDカードやUSB機器に簡単にバックアップすることができます。また、SDカードとUSB機器の間でも相互にバックアップを行うことができます。

4) すっきりカバー

すっきりカバーを標準付属しており、装着時は再生に必要なキーだけ使えて、初心者でも安心して利用することができます。操作に慣れ、より便利な検索機能などを使いたい際には、すっきりカバーを取り外してすべての機能をご利用ください。

5) 便利な機能

さらに、次のような便利な機能があります。

- ①音声で本製品の動作を明確に知らせる音声ガイド機能
- ②設定した時間になると自動的に電源が切れる「おやすみタイマー」機能
- ③再生のスピードを聴き取りやすい速度に変えられる機能
- ④自由な場所にしるしを付けられる「しおり」機能

2章 お使いいただくための注意事項

2章 1 安全にお使いいただくために（警告、注意）

本製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

警告および注意事項について

 警告 <警告>	これらの表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うおそれがあります。
 注意 <注意>	これらの表示を無視して誤った取り扱いをすると、障害を負うおそれ、または物的損害が発生するおそれがあります。

※以下の警告および注意事項の中で使われる「本製品」という表現には、プレクストーク本体のみならず、バッテリーも含まれます。

※「SDメモ리카ード」を省略して「SDカード」と表記します。

警告



電源プラグ
を抜け

本製品から煙が出る、異臭がする等の異常がある場合、そのまま使用すると火災・感電・けが等の原因になります。ただちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、本体からバッテリーを取り出し、販売店にご連絡ください。その際、本体またはバッテリーが高温になっている可能性がありますので、火傷しないように十分注意してください。



電源プラグ
を抜け

万一、バッテリーから液がもれたら、ただちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、すぐに火気より遠ざけ、販売店にご連絡ください。漏れた液や気体に引火して発火・破裂のおそれがあります。
バッテリー液が目に入った場合は、きれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。液が皮膚や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。

警告



本製品の間隙から金属物などの異物を入れたり、本製品に水や洗浄液等の液体をこぼしたりしないでください。ショートして火災・感電・故障の原因になり、大変危険です。異物や液体が入ってしまった場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、本体からバッテリーを取り出し、販売店にご連絡ください。



本機を開けて勝手に修理しないでください。カバーを取ると電流やレーザー光線が放射されることがあり危険です。火災・感電・故障の原因になります。安全のため、修理は「プレクストークお問い合わせ窓口」にご依頼ください。



CD読み取り用の光ピックアップから放射されるレーザー光線は目など人体に有害です。光ピックアップを直接のぞき込まないでください。



お風呂や雨の当たる場所、湿気が多い場所での使用はしないでください。感電・火災・故障の原因になります。



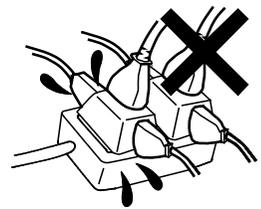
濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。



付属の電源アダプターや電源コード、当社指定のバッテリー以外は使用しないでください。また、AC100V 50/60Hz 以外の電源では使用しないでください。火災・感電・故障の原因になります。



電源プラグについたほこりは定期的に清掃してください。その際、電源プラグをコンセントから抜いた後に清掃してください。また、たこあし配線をしてください。ほこりやたこあし配線は、火災・感電の原因になります。



電源プラグを差し込む際は、プラグ本体を持って根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと火災や感電の原因になります。また、電源プラグを抜く際は、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ってプラグを抜くと、コードが傷つき、火災・感電の原因になります。

警告



禁止

電源アダプター、電源コードを傷つけないでください。重いものを乗せたり、引っ張ったり、加工したり、傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、挟んだり、熱器具を近づけたりするとアダプターやコードが傷つき、火災や感電の原因となります。



厳守

自動車・バイク・自転車などの乗り物を運転しながら本製品を使用しないでください。交通事故の原因になります。また、歩きながらの使用も大変危険です。交通事故の原因・故障の原因になります。



禁止

本製品で利用可能なSDカードやUSBメモリなどのサイズの小さなメディアは、乳幼児の手の届く場所に置かないでください。誤飲すると健康に悪影響を及ぼします。誤飲した際は、ただちに医師に相談してください。



禁止

本製品やメディアを、ほこりの多い場所、直射日光の当たる場所、暖房器具に近い場所、炎天下の車内などに置かないでください。また、携帯電話・オーディオアンプ・電子レンジ・トースター・ヘアドライヤー・その他熱や電波を発生する電気製品の近くに置かないでください。火災・感電・故障の原因になります。



禁止

本製品に対して、たたく、踏みつける、重いものを乗せる、落下させるなどの強い衝撃を与えないでください。また、火の中に入れて、電子レンジ・オーブンなどで加熱したりしないでください。火災・感電・故障の原因になります。



電源プラグ
を抜け

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーを本体から取り出しておいてください。



厳守

本体を廃棄する際は、お住まいの自治体の定める廃棄物分別方法に従って処分してください。バッテリーの廃棄は「充電式電池リサイクル協力店」にご持参して廃棄してください。



厳守

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜き、電源を切ってください。感電の原因になります。水や洗剤液を直接かけたり、霧吹きで吹き付けたりしないでください。液体が本製品にかかると、火災・感電・故障の原因になります。

⚠警告



厳守

バッテリーを誤って落下させると故障の原因になります。取り扱いには十分に注意してください。



禁止

航空機や病院など使用制限のある場所では、その場の指示に従ってください。音楽プレーヤー等の使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。



厳守

雷が鳴っている時、または落雷がありそうな時は、電源プラグをコンセントから抜き、バッテリー駆動で使用してください。電源アダプターを接続した状態で雷が落ちると、火災・感電・故障の原因になります。



厳守

本製品や付属品が故障した場合、電源を切って使用を中止し、プレクストークお問い合わせ窓口、または販売店に相談してください。故障したまま使用を続けると、火災・感電の原因になります。



厳守

本製品並びに電源アダプター内部の部品は経年変化により、劣化する場合があります。長期間ご使用された本製品や電源アダプターに異常な発熱やこげくさい臭いがするなどの異常が見られましたら、ただちに使用を中止し、プレクストークお問い合わせ窓口、または販売店にご相談してください。

⚠注意



禁止

本製品は使用中または充電中に温度が上がる場合があります。長時間皮膚の同じ場所に触れていると、熱い・痛いなどの自覚症状がなくても低温やけどの恐れがあります。長時間皮膚の同じ場所に触れないようにしてください。



禁止

長時間ヘッドホンを使用すると聴覚へ悪影響を及ぼすおそれがあります。長時間の連続使用は避けてください。また、大き過ぎる音量で聴くことも避けてください。



禁止

本製品は傾いた場所や不安定な場所を避け、必ず水平な状態でご使用ください。立てた状態で使用したり、保管したりすると倒れるおそれがあります。故障・不具合の原因になります。



禁止

ラベルやシールを貼ったCDは使用しないでください。「CDの取り出しができない」「CDの記録面に傷がつく」「再生ができない」など故障・不具合の原因になります。

⚠注意



SDカードは正しい向きで入れてください。また、出し入れの際、決して無理な力を加えないでください。間違った向きで入れたり、無理な力を加えて出し入れしたりすると故障の原因になります。

本製品のカードスロットはSDカード、SDHCカードおよびSDXCカード専用です。それ以外のカードをカードスロットに差し込まないでください。故障の原因になります。



ヘッドホン出力端子やUSB端子に接続する際は、無理な力で挿しこまないでください。また、接続された状態で無理な力をかけないようにご注意ください。故障の原因になります。



本製品の中にメディアを入れた状態および電源アダプターを付けたままでの持ち歩き、移動・運搬はおやめください。故障の原因となります。



お手入れの際は中性洗剤を少しだけ布にしめらせて汚れを取り、乾いた布でふいでください。

中性ではない洗剤を使用したり、シンナー・アルコールなどで拭いたりしないでください。本製品の表面を痛めてしまいます。



電源ケーブルにつまずいて転倒しないように注意してください。けがの原因となります。また、つまずいた際に、本製品が落下して故障する可能性があります。十分に注意してください。



本製品には、市販のCDレンズクリーナーは使用しないでください。



本製品の間隙から虫（ゴキブリなど）が入ると、故障の原因となる場合があります。



本製品の上に物をかぶせたり、布団などのやわらかい物の上で長時間使用したりすると、熱がこもり高温になる場合があります。このような状態での使用は避けてください。故障・不具合の原因になります。

2章2 使用許諾

- 1.本取扱説明書（以下「本書」）はシナノケンシ株式会社の著作物です。したがって、定められた場合を除き、本書の一部または全部を無断で複製・複写・転写・転載・改変することは法律で禁止されています。
- 2.本書に記載されている内容に関しては、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 3.本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不明な点あるいは不備な点などがありましたら、当社までご連絡ください。
- 4.本製品および付属品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記に関わらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 5.本製品は「外国為替および外国貿易法」の規定により戦略物等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際は、日本政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
- 6.本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んだ使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により人身事故、火災事故、社会的損害などが生じても、当社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。
- 7.本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し、日本国外への技術サポートおよびアフターサービス等を行っておりません。予めご了承ください。

本製品と付属品のライセンスと商標はすべて、当社その他本製品と付属品の各々の権利者が保持します。

登録商標について

- ・Microsoft、Windows 10、Windows 11、Windows Embedded Compact 7 は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

2章3 その他注意事項

電波障害自主規制について

本製品（電源アダプターを含む）は家庭環境で使用することを目的にしておりますが、ラジオ、テレビ等に接近して使用すると、電波障害の原因となることがあります。本製品がテレビやラジオ等の受信障害の原因となっているかは本製品の電源のON/OFFを切り替えることでご確認いただけます。本製品が原因の場合は次の方法をお試しください。

- ・受信アンテナの位置、あるいは方向を変える
- ・本製品と受信機の距離を離す
- ・本製品と受信機のコンセントを別々にする

バックアップに関する著作権について

本製品によるバックアップは、著作権法で許された範囲のコピー（私的使用のための複製、あるいは、著作権法37条3項に定められた視覚障がい者のための用途）のみを目的として使用するものです。違法コピーは民事上または刑事上の制裁を受ける場合があります。

有寿命部品について

本製品には、有寿命部品（CDドライブ、ラバーキー等）が含まれています。

使用頻度、経過時間、使用環境によって摩耗／劣化が進行し、交換が必要となる部品です。本体の保証期間内であっても部品交換が有償となる場合があります。

- ・CDドライブの光ピックアップは、製造からの時間経過とともに徐々に摩耗／劣化し、読み取り時間としておよそ2000時間が寿命の目安となります。なお、使用頻度、使用環境によっては早期に摩耗、劣化する場合があります。CDを読み込みにくい症状が頻繁に発生する場合は「プレクストークお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

消耗品について

本製品には、消耗品（バッテリー、時計用電池等）が含まれています。

使用頻度や使用量により消耗します。初期不良の場合を除き、本体の保証期間内であっても有償となります。

- ・バッテリーは充電／放電の繰り返しや、製造から時間が経過することで電池容量が消耗します。消耗の進み方は使用頻度や使用環境により異なります。バッテリー残量がゼロパーセントの状態でも長期間放置する、バッテリーを使い切ってから充電する、温度が高い場所で使用する、熱がこもる場所で使用するなどのご使用を極端に繰り返すと、バッテリーが早期に消耗しますのでご注意ください。
- ・時計用電池の消耗を防ぐため、少なくとも3か月に1回は電源アダプターを接続し、24時間以上充電を行ってください。長期間電源アダプターを接続しない状態が続くと、電池が放電し、時計が時刻を保持することができなくなります。また、このような状態で長期間経過すると、時計用電池の消耗が急速に進み、時計の保持期間が短くなります。

他社電源アダプターの使用

本製品の付属品以外の電源アダプターは、本製品の破損や誤動作等、予期せぬ不具合または故障の原因となりますので、使用することはできません。

その他

- ・本製品は水平な机上など安定した場所に、操作面を上にして使用してください。
本製品を側面や背面を下側にし、立てた状態での使用はお控えください。故障の原因となります。
- ・動作中、充電中には電力を消費するため、本体やバッテリー表面温度が上昇しますが異常ではありません。

3章はじめに

3章1 入っているものを確認しましょう

本製品をご使用になる前に、まず次のものがそろっているか□にチェックしながらお確かめください。万一不足しているものがありましたら、お手数ですが本製品を購入した販売店までご連絡ください。

お願い：梱包箱や梱包材は、修理などのために本製品を安全に輸送する際に必要となることがありますので、大切に保管しておいてください。

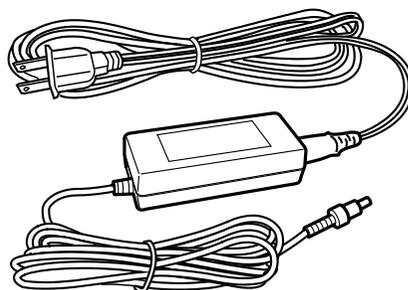
プレクストーク PTN3

1台



電源アダプター

1個

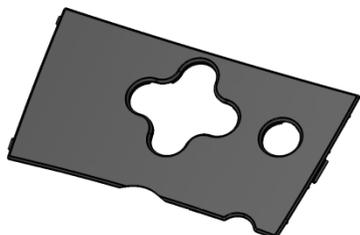


※バッテリーは本体に装着された状態で同梱されています。

※電源コードは電源アダプターと接続した状態で同梱されています。

すっきりカバー（本体に装着済）

1個



取扱説明書墨字版（本書） 1冊

基本操作ガイド音楽CD版 1枚

保証書 1枚

同梱品一覧表（点字） 1枚

プレクストークお客様登録用紙 1枚

返信用封筒 1枚

3章 2 取扱説明書を開く

本製品には取扱説明書墨字版（本書）に加え、音声マニュアルおよび電子マニュアルが付属します。

本章では、これらの取扱説明書の概要および開き方をご説明します。

取扱説明書墨字版

本書が取扱説明書墨字版となります。

この説明書では、基本操作ガイド音楽CD版でのご説明に加え、便利な機能やより詳細な使い方をご説明しています。

音声で取扱説明書をご確認いただくには、本製品内蔵の取扱説明書DAISY版をご利用ください。

基本操作ガイド音楽CD版

基本操作ガイド音楽CD版は、本製品や音楽CDプレーヤーで再生することができます。

このCDでは、本製品の基本的な操作方法についてご説明しています。

取扱説明書DAISY版

取扱説明書DAISY版は、本製品にヘルプとして内蔵しており、すっきりカバーを外した状態にて使用することができます。

この説明書では、基本操作ガイド音楽CD版でのご説明に加え、便利な機能やより詳細な使い方をご説明しており、内容は音声にてお聴きいただくことができます。

<ヘルプの聴き方>

手順		音声ガイド
1	[0キー] を押します。	「ヘルプ開始」
2	取扱説明書DAISY版の内容を聴くことができます。 再生方法はDAISY図書と同じです。	
3	さらに [0キー] を押すとヘルプが終了します。	「ヘルプ終了」

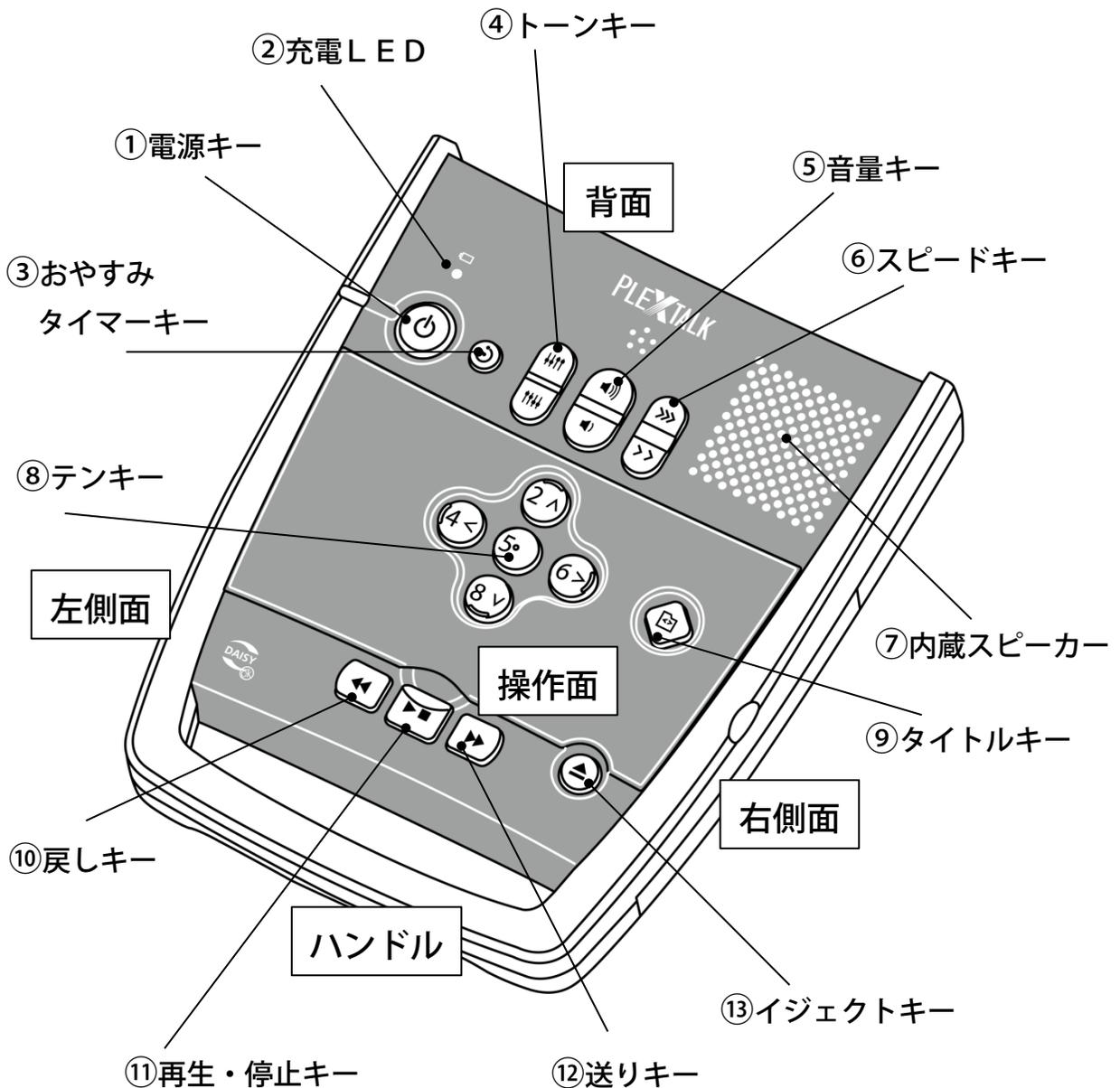
<ポイント>

- [0キー] を長押しすると「キー説明モード」が開始します。「キー説明モード」を終了するには [0キー] を長押しします。

4章 各部の名称と働き

4章 1 本体の形状

本製品を操作するための各種キーが配置されている広い面を「操作面」と呼びます。操作面手前側に手で握れる大きさのバーがあり、そこがハンドルとなります。ハンドルが手前になるように本体を置きます。背後の面を「背面」、右側の側面を「右側面」、左側の側面を「左側面」、本体下側を「底面」と呼びます。



これから各キーの操作方法を簡単に説明します。詳しくは次章以降を参照してください。

4章2 操作面（すっきりカバー装着時）

すっきりカバー装着時に使用できるキーやその特徴から説明します。
操作面を奥側、中央、手前に分けてご説明します。

操作面 奥側のキー

操作面奥側には、電源や音量を操作するキーがあります。

①電源キー

操作面で一番左奥にある丸く大きなキーです。キーの左側には横長の溝があり位置が確認できます。電源をON/OFFします。

主な役割

操作方法	説明
キー長押し	電源ON/OFF。電源ON時は緑色に点灯

②充電LED

電源キーの上に充電LEDがあります。

バッテリーの充電中は赤色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。バッテリーや電源アダプターに異常がある際は赤色で点滅します。

③おやすみタイマーキー

電源キーの右側にある小さな丸いキーです。おやすみタイマーを設定します。

主な役割

操作方法	説明
キー短押し	15分、30分、45分、1時間、1時間30分、2時間、オフを設定

④トーンキー（上：トーンアップ、下：トーンダウン）

おやすみタイマーキーの右側にある三つ並んだ縦長のキーの左側のキーです。

主な役割

操作方法	説明
キー短押し	トーンアップ：高音強調、トーンダウン：低音強調
キー長押し	押し続けている間、素早く変更可能
キー同時押し	トーン標準

⑤音量キー（上：音量アップ、下：音量ダウン）

三つ並んだ縦長のキーの真ん中のキーです。内蔵スピーカーの再生音量とヘッドホン出力の再生音量は、別々に設定します。

主な役割

操作方法	説明
キー短押し	再生音量・ガイド音量のアップ／ダウン
キー長押し	押し続けている間、素早く変更可能
キー同時押し	音量標準（音量13）

⑥スピードキー（上：スピードアップ、下：スピードダウン）

三つ並んだ縦長のキーの右側のキーです。

主な役割

操作方法	説明
キー短押し	再生スピードのアップ／ダウン
キー長押し	押し続けている間、素早く変更可能
キー同時押し	スピード標準

⑦内蔵スピーカー

操作面の右奥にあり、多くの穴が開いています。再生音や音声ガイドが流れます。

操作面 中央のキー

操作面中央にはタイトルの選択、移動、情報を確認するキーがあります。

⑧テンキー（2、4、5、6、8キー）

操作面中央にあるキーです。電話のプッシュボタンと同じ配列です。ただし、すっきりカバー装着時は2、4、5、6、8キーのみ操作できます。

主な役割

キー	説明	条件
2、4、6、8	タイトルを選択する際に使用 十字キーの役割をします	タイトル選択中
2、8	移動単位の切り替え	再生中
4、6	再生位置の戻し、送り	再生中
5	情報確認、情報のスキップ	短押し
5	現在日時情報確認	長押し

⑨タイトルキー

6キーの右側にあるキーです。タイトル選択を開始します。開始後は2、4、6、8キーを使

ってメディア、カテゴリー、タイトル、ファイルを選択します。もう一度タイトルキーを押すとタイトル選択をキャンセルし、タイトル選択開始前に再生されていたタイトルの停止状態に戻ります。

主な役割

操作方法	説明
キー短押し	タイトル選択の開始／キャンセル

操作面 手前のキー

操作面手前には再生やCDの取り出しに使用するキーがあります。

⑩戻しキー

操作面手前にある横に3つ並んだキーの一番左側のキーです。

主な役割

操作方法	説明
キー短押し	再生位置の戻し操作（フレーズ、トラック、文単位など）
キー長押し	早戻し（時間・フレーズ単位）

⑪再生・停止キー

操作面手前にある横に3つ並んだキーの真ん中のキーです。

主な役割

操作方法	説明
キー短押し	再生／停止の切り替え。操作の決定
キー長押し	再生中のタイトルの経過時間情報確認

⑫送りキー

操作面手前にある横に3つ並んだキーの右側のキーです。

主な役割

操作方法	説明
キー短押し	再生位置の送り操作（フレーズ、トラック、文単位など）
キー長押し	早送り（時間・フレーズ単位）

⑬イジェクトキー

操作面で一番右手前にあるキーです。少しくぼんだ位置にあります。

主な役割

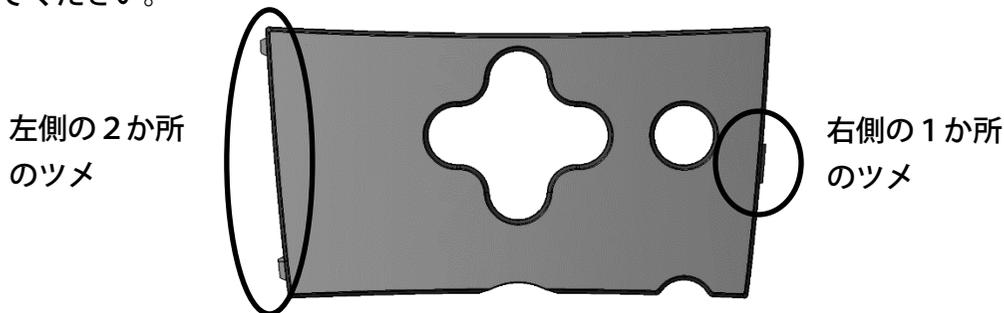
操作方法	説明
キー短押し	CDの取り出し

4章3 操作面（すっきりカバー未装着時）

次にすっきりカバーが装着されていない状態で使用できるキーを説明します。

<すっきりカバーの特徴>

本体中央部分にある一段盛り上がった部分がすっきりカバーです。テンキーなどの一部のキーを隠すように装着されています。すっきりカバーは左側のツメ2か所、右側のツメ1か所で本体に固定されています。そのツメを本体から外すことでカバーを外すことができます。カバー取り外し後は装着されていた部分が一段下がった状態となります。取り外したカバーは大切に保管してください。

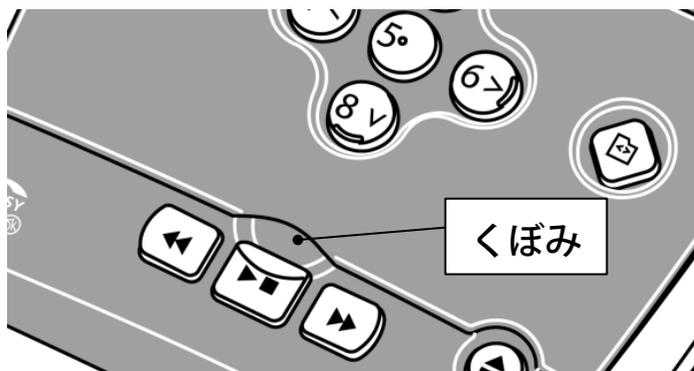


<すっきりカバーの取り外し方>

手順	
1	再生・停止キーのすぐ上にくぼみがあるので、そのくぼみに親指の腹を引っかけます。
2	中指で5キーあたりを押さえながら、親指でカバーを上方向に持ち上げると外せます。

<注意>

- カバーを外す際、力を入れ過ぎるとカバーが破損するおそれがあります。また、カバーを押さえながら外さないでください。
- カバーを外す際にカバーが飛んでしまわないようご注意ください。

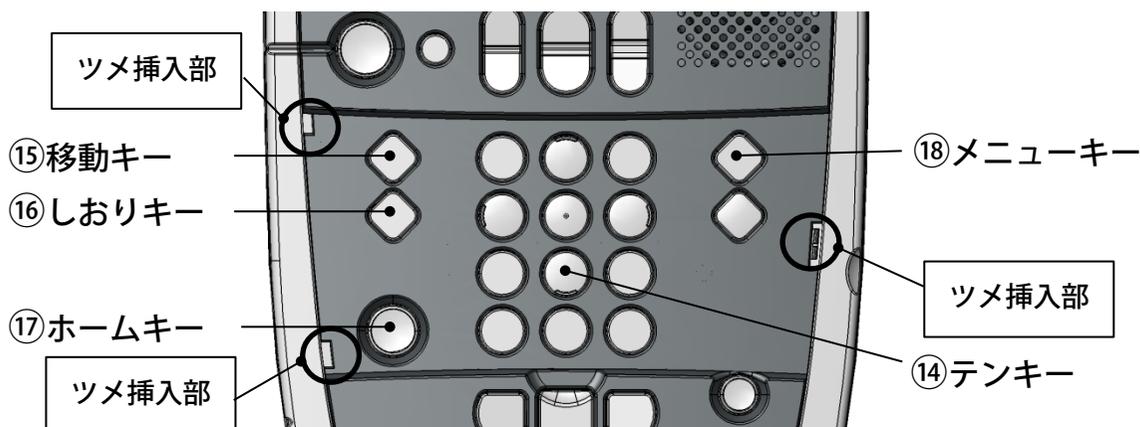


<すっきりカバーの取り付け方>

手順	
1	左側の2か所のツメを、本体装着部の2か所の穴に差し込みます。
2	左側のツメが入った状態で、右側のツメ部を下方方向に押し込みます。
3	装着後は、カバーの4隅が本体から浮いていないことを確認してください。

<ポイント>

- 左側のツメを入れる際は、左奥のツメをすっきりカバー装着部の段差に突き当てながら左側に移動すると簡単にツメを入れることができます。
- 右側のツメを入れる際は、カバーの右側中央部分を少し本体中央向きに押しながら下方方向に押し込むと簡単にツメを入れることができます。



次にすっきりカバーが装着されていない状態で使用できるキーを簡単に説明します。

⑭テンキー（1、3、7、9、0、*、#キー）

操作面中央にあるキーです。電話の押しボタンと同じ配列です。

すっきりカバー装着時にも押すことができる2、4、5、6、8キーもテンキーに含まれます。

2、4、5、6、8キーは他のテンキーよりもキーの高さが高くなっています。

主な役割

キー	説明	条件
0から9	番号の入力	入力準備中
3	リピート設定の切り替え	再生中
7	タイトル削除	選択中、再生中
9	バックアップ	選択中、再生中
0	取扱説明書DAISY版の確認	短押し

0	キー説明モードの開始／終了	長押し
*	操作をキャンセル、またはアンドゥ	短押し
#	操作を決定、またはリドゥ	短押し

⑮移動キー

1 キーの左側にある縦に二つ並んだキーの上側のキーです。目的のページや見出しなどに直接移動する際に使用します。

主な役割

操作方法	説明	条件
キー短押し	数字入力によるタイトル番号への直接移動	タイトル選択中
キー短押し	数字入力による再生位置への直接移動 ページ／見出し／パーセント／トラック／アルバムなど	再生中

⑯しおりキー

移動キーのすぐ下側にあるキーです。しおりを付けたり、しおりに移動する際に使用します。

主な役割

状態	説明
再生中	お気に入りの追加、しおり移動／しおりの設定／しおりの削除
タイトル選択中	タイトルの並び順の切り替え 全タイトル一覧／履歴タイトル／最近追加したタイトル／バックアップしたタイトル

⑰ホームキー

しおりキーから3 cmほど下側にある丸く大きなキーです。このキーを押すと、操作や選択途中のメニューをキャンセルしていったん停止します。

操作をしながら、どのような状態かわからなくなった際にご使用ください。

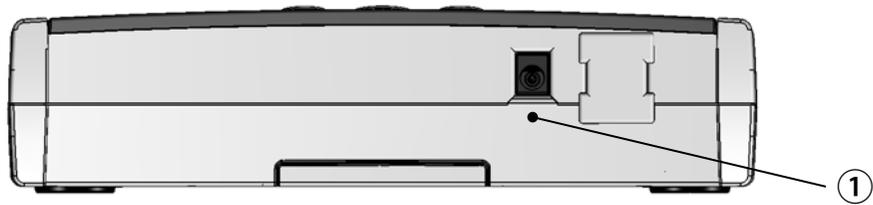
⑱メニューキー

3 キーの右側で、縦に2つ並んだキーの上側のキーです。メニューの選択方法は2、4、6、8、*、#を使用して選択・決定・キャンセルします。操作の途中ですべてをキャンセルしたい時は、メニューキーを押すとすべてキャンセルされます。メニュー構成は「17章 メニューから機器の設定を行う」84ページを参照ください。

主な役割

操作方法	説明
キー短押し	メニューの開始／メニューの終了

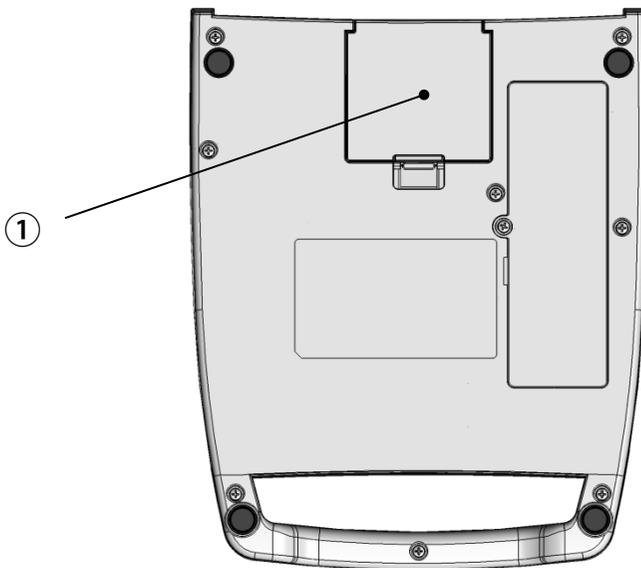
4章4 背面



①電源入力端子

背面には電源入力端子があります。付属の電源アダプターを接続します。

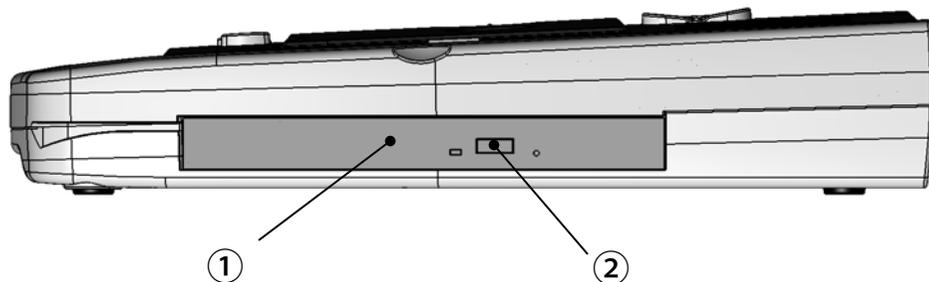
4章5 底面



①バッテリー蓋

底面の奥側中央にバッテリー蓋があります。出荷時にはバッテリーが装着されています。

4章6 右側面



① CDドライブ

CDドライブがあります。操作面のイジェクトキーを押すとトレイが少し排出されます。トレイを完全に引出すと、トレイ中央にはCDをセットする丸い突起部分がありますので、そこへCD中央の穴位置を合わせしっかりとセットしてください。

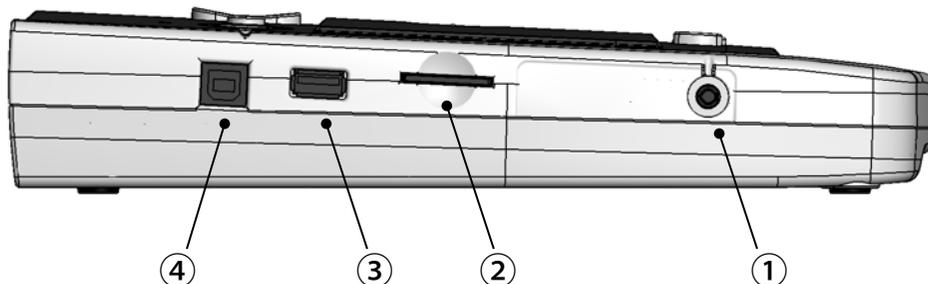
<注意>

- 本体から排出されたトレイ右手前部分にはCDを読み込むために重要な光ピックアップがあります。光ピックアップに指紋などが付着した場合はCDを読み込めなくなる可能性がありますので、CDをセットする際はピックアップに触れないようご注意ください。
- 光ピックアップは埃などの付着で読み込み性能が悪化します。トレイを開けたままでの放置はおやめください。
- 光ピックアップは有寿命部品です。寿命が近づくとCDが読み込みづらくなります。そのような症状が頻繁に発生するような際は「プレクストークお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。交換時期については、使用環境や状況により異なりますが、長時間連続使用等、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内であっても部品交換（有料）が必要となる場合があります。
- 長時間CDを再生すると製品内部が熱くなっていることがありますので、製品内部の温度と同様に取り出したCDも熱くなっていることがあります。

②イジェクトボタン（CDドライブ付属）

内蔵CDドライブ自体に付いているイジェクトボタンです。このボタンでもCDを取り出すことができます。

4章7 左側面



① ヘッドホン出力端子

左側面一番手前の丸い穴がヘッドホン出力端子です。端子の上には溝があり、位置が確認できます。ヘッドホンや外部スピーカーを接続します。ステレオ出力です。

<ポイント>

- ヘッドホン出力端子から再生される音量は、内蔵スピーカーから再生される音量とは異なります。ヘッドホン出力の音量は、内蔵スピーカーの音量とは別に設定します。

② SDカードスロット

左側面手前から2番目の少くぼんだ細長い穴がSDカードスロットです。SDメモ리카ード、SDHCメモ리카ード、およびSDXCメモ리카ードに対応しています。

③ USB タイプA端子 (スタンダード タイプA)

左側面手前から3番目の長方形の穴がUSBタイプA端子です。USBメモリやUSBカードリーダーライターを接続します。

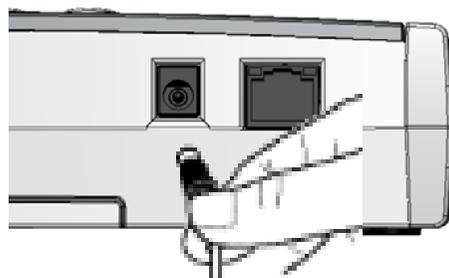
④ USB タイプB端子 (スタンダード タイプB)

左側面一番奥の正方形の穴がUSBタイプB端子です。パソコンと接続し、本製品をリムーバブルディスクとして使用することができます。

5章 基本操作

電源アダプターを接続する

手順	
1	本製品を机・台などの平らで硬いものの上に置きます。
2	背面にある電源入力端子に、電源アダプターを接続します。
3	電源アダプターの電源プラグをコンセントに差し込みます。



<警告>

- 付属品以外の電源アダプターを使用すると故障・火災の原因になります。必ず付属の電源アダプターを使用してください。
- 本体と電源アダプター、電源プラグとコンセントは、しっかりと接続してください。

<ポイント>

- 本製品は電源アダプターを接続すると電源OFFの状態にあっても接続音が本体より流れます。この接続音により確実に電源アダプターが接続されたことを確認してください。
- 本製品にはバッテリーが内蔵されていますので、バッテリーが充電されていれば電源アダプターを接続しなくても電源をONできます。
- 本製品はバッテリーを外して電源アダプターだけでもご利用いただけます。

電源をON／OFFする

[電源キー] を長く押す（2秒以上）ことで電源をON／OFFできます。

操作	使用するキー
1 電源「ON」	[電源キー] を2秒以上長押し
2 電源「OFF」	「電源キー」を2秒以上長押し

<ポイント>

- [電源キー] を受け付けると、電源ON時は「しばらくお待ちください」、電源OFF時は「電源OFF」という音声ガイドがあります。音声ガイドを聴いてから指を離してください。

CDを聴く

CDを入れると自動で再生が始まります。CDの取り扱い方法に関しては「6章1 CDについて」32ページを参照ください。

操作	使用するキー
1 再生・停止	[再生・停止キー]
2 次へ移動	[送りキー] または [6キー]
3 前へ移動	[戻しキー] または [4キー]

CDをバックアップする

CDを他のメディアにバックアップして聴くことができます。各種メディアの取り扱い方法は「6章 各種メディアの取り扱い方法」32ページを参照ください。また、バックアップ操作の詳細は「14章 図書や音楽などをバックアップする」72ページを参照ください。

操作	使用するキー
1 バックアップ開始	[9キー] ※すっきりカバー装着時は [9キー] を使用できません。すっきりカバーを外すには「すっきりカバーの取り外し方」23ページを参照ください。

<ポイント>

- CDドライブは有寿命部品のため使い続けることで徐々に摩耗/劣化します。同じCDを繰り返し聴くような場合は他のメディアにバックアップしてから聴くことでCDドライブの摩耗/劣化を抑えることができます。
- CDは再生時に動作音がします。動作音が気になる場合は他のメディアにバックアップしてから聴いてください。他のメディアは動作音がしません。
- CDのバックアップは数分から数十分で完了します。

バックアップしたものを聴く

バックアップしたものを選択して聴く操作の詳細は「7章3 タイトルを選択して聴く」46ページを参照ください。

操作	使用するキー
1 タイトル選択開始	[タイトルキー]
2 タイトルの選択	[4キー] または [6キー]
3 タイトルの決定	[再生・停止キー] または [#キー]

<ポイント>

- タイトル選択中に「しおりキー」を押してタイトルの並び順を「バックアップしたタイトル」に変更することで、バックアップしたタイトルだけが選択可能になります。操作の詳細は「タイトルの並び順の切り替え」51ページを参照してください。

6章 各種メディアの取り扱い方法

本製品はCD・SDカード・USB機器に記録されたDAISY図書や音楽などを再生することができます。CD・SDカード・USB機器を総称して「メディア」と呼びます。本章ではそれぞれのメディアの取り扱い方法を説明します。

6章1 CDについて

CDの取り扱いについて

CDは円盤の形をしており、直径は12cmです。ドーナツのように中心に丸い穴が開いており、穴の大きさは、ちょうど人差し指を挿しこむことができるくらいの大きさです。記録面には、CD中央の穴の縁から1cm外側に同心円状のどっぴりがあります。CDを持つときは、記録面を下に向けた状態で、上側から人差し指を真ん中の穴に入れ、親指を外側の縁に当て、つまむように持ちます。

<注意>

- CDの記録面は指紋・傷・汚れが付くと正しく読み取れなくなります。なるべく記録面には触れないよう、CDの縁を持ってください。

再生できるCD

本製品では次の種類のCDを再生することができます。

種類	説明
DAISY図書CD	DAISY図書を収録したCDです。
音楽CD	市販の音楽CDです。
音声ファイルCD	音声ファイルを収録したCDです。
テキストファイルCD	テキストファイルを収録したCDです。

<ポイント>

- 著作権保護技術付きCDは再生できない場合があります。
- 「名刺型などの特殊な形状のCD」や「ラベルやシールを貼ったCD」は使用しないでください。無理に使うと故障の原因になります。

CDを入れる・取り出す

本製品のCDドライブは右側面に配置されています。操作面右手前にある「イジェクトキー」を押すと右方向にトレイが出てきます。CDの出し入れの際は、「CDをセットする」34ページまたは「CDを取り外す」35ページを参照ください。

<CDドライブについて>

CDドライブのトレイの構造や取り扱い上の注意点を説明します。

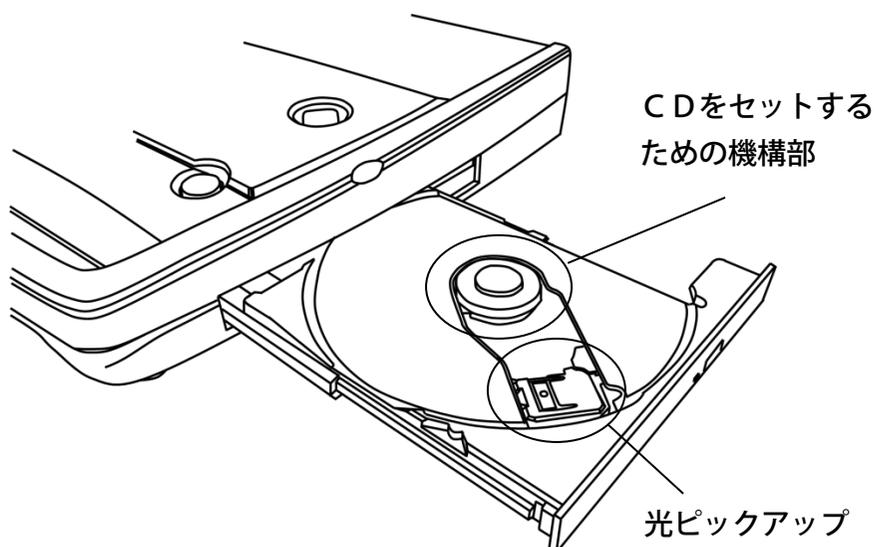
・光ピックアップ

トレイにはCDを読み込むために非常に重要な「光ピックアップ」がついています。指紋やゴミなどが付着すると読み込み性能が悪化し、最悪の場合は故障してしまいますので絶対に触らないでください。「光ピックアップ」はトレイの右手前に配置されています。具体的には右側面から2～3cm、手前側から3～5cmほど内側の位置にあります。

・CD着脱機構

CDをセットするための機構がトレイ中央にあります。直径1.5cmほどの丸い突起部分です。ここにCDの中心にある丸い穴の位置を合わせ取り付けます。

本体操作面と右側面との角に少しくぼんだ部分があり、そこから右方向に6cmほど指を移動すると突起部分を確認することができます。



<注意>

- トレイが開いた状態で長時間放置すると光ピックアップに埃などが付着しますので、長時間使用しない場合はトレイを閉めてください。
- トレイ右手前側には重要な部品があるため、トレイの構造などを確認する際は「トレイ左側（本体側）」または「トレイ奥側」から確認してください。

<CDをセットする>

CDをセットする際は、トレイが止まるまで右方向に引き出してからセットしてください。

手順	
1	操作面右手前にある「イジェクトキー」を押します。 トレイが右方向に5 cmほど開きます。
2	トレイの蓋の奥側をつまんで、右方向に止まるまで引き出します。トレイを止まるまで引き出さないと、CDをセットできませんので、ご注意ください。
3	CDを左側に傾けながら、CDの穴をトレイ中央部の丸い突起に合わせます。
4	穴の周りを複数の指を使って、「カチッ」という音がするまで押し込んでセットします。
5	CDがセットできたら、トレイの蓋の中央付近に手を添えて、左方向に奥まで押し込みます。

<注意>

- CDは本体右側に排出されます。排出前に本体右側に物が置かれていないか確認してください。
- CDをセットする際は、くれぐれも光ピックアップに触れないようご注意ください。
- CDをセットする際は、トレイが机などの広い面の上にあるか確認してください。トレイが机からはみ出ている状態でセットすると、トレイが割れるまたは本体が落ちるなど故障の原因となります。
- CDが正確にセットされていれば、トレイは本体にスムーズに入れることができます。トレイを入れるのに力が必要な場合はCDが正確にセットされていない可能性があります。CDがきちんとセットされているか確認してください。無理にトレイを入れようとするとCDが傷つくおそれがあり、最悪は故障の原因となります。

<ポイント>

- CDを持つ際は、記録面を下に向けた状態で、CDの上側から人差し指を真ん中の穴に入れ、親指を外側の縁に当て、つまむように持ってください。
- トレイはしっかりと引き出した状態でCDを入れてください。
- CDをセットする際は、トレイ左半分の広い部分にCDの左端をすこし押し付けながら左方向に手を移動すると、CDがトレイに突き当たります。突き当たるとCDの穴位置とトレイ中央の突起の位置がだいたいあいます。

<CDを取り外す>

CDを取り外す際は、トレイが止まるまで右方向に引き出してから操作してください。

手順	
1	操作面右手前にある「イジェクトキー」を押します。 トレイが右方向に5cmほど開きます。
2	トレイの蓋の奥側をつまんで、右方向に止まるまで引き出します。
3	親指でトレイ中央部の丸い突起を押さえ、人差し指または中指でCDの奥側のふちを持ちあげます。「カチッ」と音がしてCDが丸い突起から外れます。
4	CDをトレイから取り出してください。

<注意>

- CDを取り外した後は長時間トレイを開けた状態にしないでください。長時間放置すると光ピックアップに埃が付着し、故障の原因となります。
- 内蔵CDドライブのトレイの蓋中央付近に付いているイジェクトボタンでもCDトレイを開くことができます。

6章2 SDカードについて

利用可能なSDカード

本製品では次の種類のSDカードを使用することができます。

- ・SDカード
- ・SDHCカード
- ・SDXCカード

なお、本製品にはSDカードが付属されていませんので、あらかじめご了承ください。動作確認済品は当社ホームページからご確認いただけます。

SDカードの形状

SDカードは切手ほどの大きさと四角い板のような形状をしています。滑らかな面が表面で、ギザギザした部分がある面が裏面です。SDカードはサイズが小さいので、紛失しないように注意してください。

<ポイント>

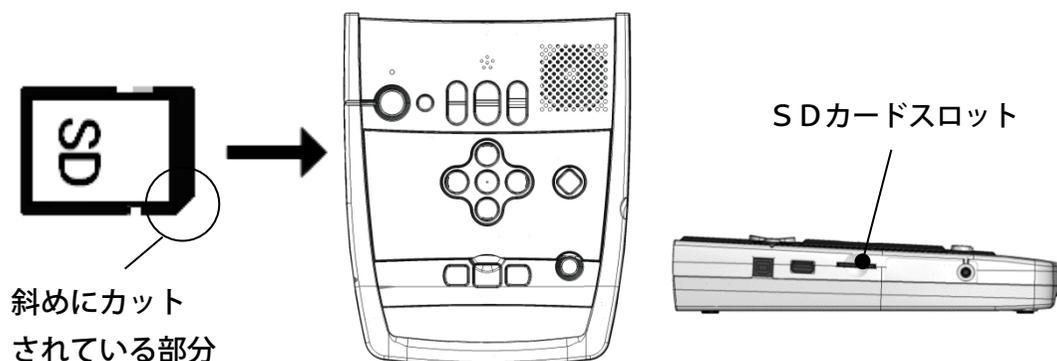
- SDカードケースが市販されています。ケースに保管するなどして紛失しないようご注意ください。

SDカードの入れ方

左側面手前から2番目の少しくぼんだ細長い穴がSDカードスロットです。SDカードを使用する際は、このスロットにSDカードを挿してください。

手順

- 1 SDカードの滑らかな面を上に向けて持ちます。
- 2 側面で角が斜めにカットされている部分が右手前に来るように持ちます。
- 3 SDカードスロットにゆっくりと入れます。奥までしっかりと入れてください。
- 4 「カチッ」と音がして、SDカードが本製品に固定されます。



<ポイント>

- SDカードには向きがあります。入らない場合はSDカードの向きを確認してください。
- SDカードの接続は、本製品の電源が入った状態でも接続できます。
- 再生中にSDカードを接続すると、再生を停止し、SDカード内のタイトルの再生準備が始まります。タイトル名をお知らせしたあと自動的に停止します。

SDカードの取り出し方

手順

- 1 SDカードを指先で「カチッ」と音がするまで押し込みます。
- 2 SDカードの固定が解除され、指を離すと5mmほど本体から出てきます。
- 3 カードの先端をつまんで取り出します。

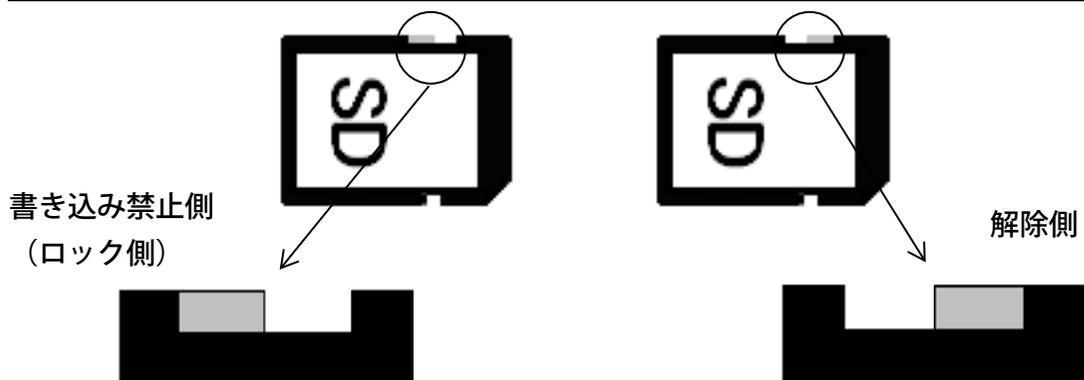
<注意>

- 電源が入った状態でもSDカードを取り外すことができます。ただし、バックアップなどでSDカードに書き込み中の状態で取り外すとデータが壊れる可能性がありますのでご注意ください。

書き込み禁止スイッチ

SDカードには「書き込み禁止スイッチ」があります。このスイッチを左側にすると「書き込み禁止」、右側にすると「解除」となります。

状態	説明
書き込み禁止	書き込み禁止状態ではSDカード内のデータを消したり、他のメディアからデータをバックアップしたりすることができません。大切なデータをSDカードで保管したい場合などに使用ください。 書き込み禁止状態でもDAISY図書や音楽の再生ができます。



「書き込み禁止スイッチ」を操作するには、次のように操作します。

手順	
1	SDカードの滑らかな面を上に向けて持ちます。
2	側面で角が斜めにカットされている部分が右手前に来るように持ちます。SDカードの奥側の面にくぼみがあり、そこにスイッチがあります。
3	スイッチを左側に動かします。「書き込み禁止」状態になります。
4	スイッチを右側に動かします。「解除」状態になります。

<ポイント>

- スイッチは指の腹では動かすににくいいため、爪に引っかけて動かすと簡単に動かすことができます。

6章3 USB機器について

USBメモリやUSBカードリーダーライターなどのUSBコネクタ（スタンダード Aタイプ）を使用して、本製品に接続されるメディアを「USB機器」と呼びます。

利用可能なUSB機器

本製品では次の種類のUSB機器を使用することができます。

- ・USBメモリ
- ・USBカードリーダーライター
- ・USB外付けハードディスクドライブ
- ・当社製品「PTR2」（CFカードのみ）
- ・当社製品「プレクストークポケット」
- ・当社製品「プレクストークリンクポケット」（SDカードのみ）

本製品では次のUSB機器は使用することができません。

- ・USB外付けCD/DVDドライブ

当社製品「プレクストークリンクポケット」の内蔵メモリとはUSBタイプA端子では接続できません。「プレクストークリンクポケット」の内蔵メモリとはUSBタイプB端子を使用して接続し、リンクポケットから操作します。「16章2 本製品とプレクストークポケット・プレクストークリンクポケットを接続する」82ページをご覧ください。

<ポイント>

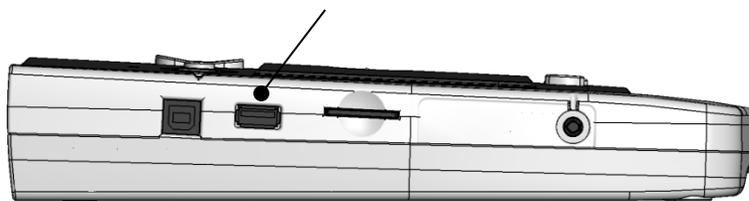
- USBメモリ、カードリーダーライター、ハードディスクの種類によっては、本製品で 사용할ことができない場合があります。動作確認済品は当社ホームページからご確認いただけます。
- USB外付けハードディスクドライブのファイルシステムがNTFSの場合、本製品では認識できません。メニューの「メディア管理」から「USB機器のメディア内容全消去」を実行することで認識できるようになります。
- PTR2を本製品に接続する際は、PTR2の管理メニューから「USB動作の切り替え」を「カードドライブ」に設定してください。「CDドライブ」に設定されていると接続できません。
- PTR1やPTR2で録音したCFカードを再生するためには、CFカードを接続可能なカードリーダーライターまたはPTR2を本製品に接続してください。
- 本製品にはUSB接続ケーブルは付属されていません。

USB機器の接続方法

左側面にある手前側から三つ目の長方形の穴がUSB端子（スタンダード Aタイプ）です。本製品にUSB機器を接続する際は、この端子を使用します。

対象機器	接続方法
USBメモリ	直接USB端子に接続します。
その他のUSB機器	USB接続ケーブルを使用して接続します。

USB端子（スタンダード Aタイプ）



<ポイント>

- USB端子には向きがあります。入らない場合はUSB端子の向きを表裏逆にしてお試しください。
- USB接続ケーブルを使ってカードリーダーライターなどを接続する際は、接続ケーブルの平たい端子側（A端子）を本製品に接続し、ケーブルの反対側の端子をカードリーダーライターなどに接続します。
- USB機器の接続は、本製品の電源が入った状態でも接続できます。
- 再生中に「USB機器」を接続すると、再生を停止し、USB機器内のタイトル停止中の状態になります。

USB機器の取り外し方

取り外す際は、接続中のUSB機器の端子付近をつかみ、左方向に取り出してください。

<注意>

- 電源が入った状態でもUSB機器を取り外すことができます。ただし、バックアップなどでUSB機器に書き込み中の状態で取り外すとデータが壊れる可能性がありますのでご注意ください。

7章 DAISY図書を聴く

7章1 CDからDAISY図書を聴く

再生・停止する

CDを入れるとタイトルを読み上げた後、自動で再生が始まります。停止したい時や、再生を再開したい時は「再生・停止キー」を使用します。再生・停止の方法は音楽なども同じです。

手順		音声ガイド
1	CDを入れると自動で再生が始まります。	「～本文～」
2	「再生・停止キー」を押すと、再生が停止します。	「♪♪」
3	「再生・停止キー」を押すと、再生が再開します。	「～本文～」

<ポイント>

- 本製品は、過去に聴いたタイトルの最後に停止した位置を自動的に記憶します。電源をOFFしても次回電源ON時には前回停止した位置から再生を再開できます。1000タイトルまで記憶します。

送りキー・戻しキーを利用する

「送りキー」または「戻しキー」を1回押すと1フレーズずつ前後へ移動します。

手順		音声ガイド
1	「送りキー」を1回押します。次のフレーズへ移動します。	「～本文～」
2	「戻しキー」を1回押します。前のフレーズへ移動します。	「～本文～」

<ポイント>

- 音楽ではトラック単位、テキストでは段落単位で前後へ移動できます。
- 「送りキー」または「戻しキー」を押し続けると、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、2分、3分・・・と早送り、早戻しができます。2分を超えると指を離しても早送り、早戻しを続けますので、再生したい場所で「再生・停止キー」を押してください。
- テキストのみのDAISY図書の場合に押し続けると、「5フレーズ、10フレーズ・・・」と早送り、早戻しされます。指を離すと自動的に再生が始まります。

7章2 DAISY図書を便利に聴く

前後に移動して聴きたい場所を聴く

DAISY図書は、章、節、項、ページなどの単位によって区切られており、ある場所から次の場所へと素早く移動できるようになっています。

<DAISY図書の移動単位>

DAISY図書再生中は次の単位で移動できます。

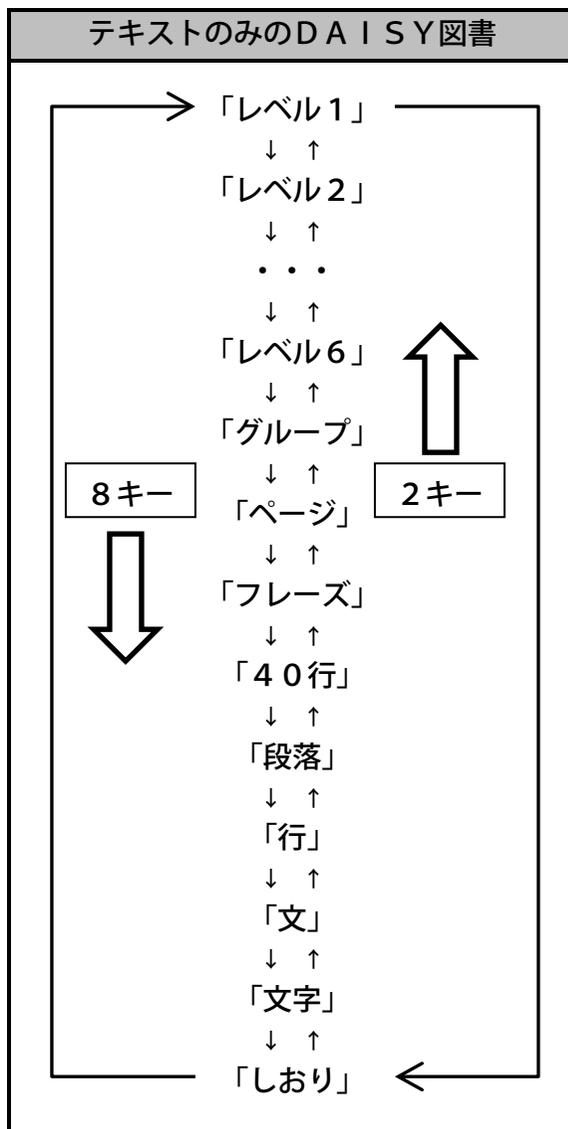
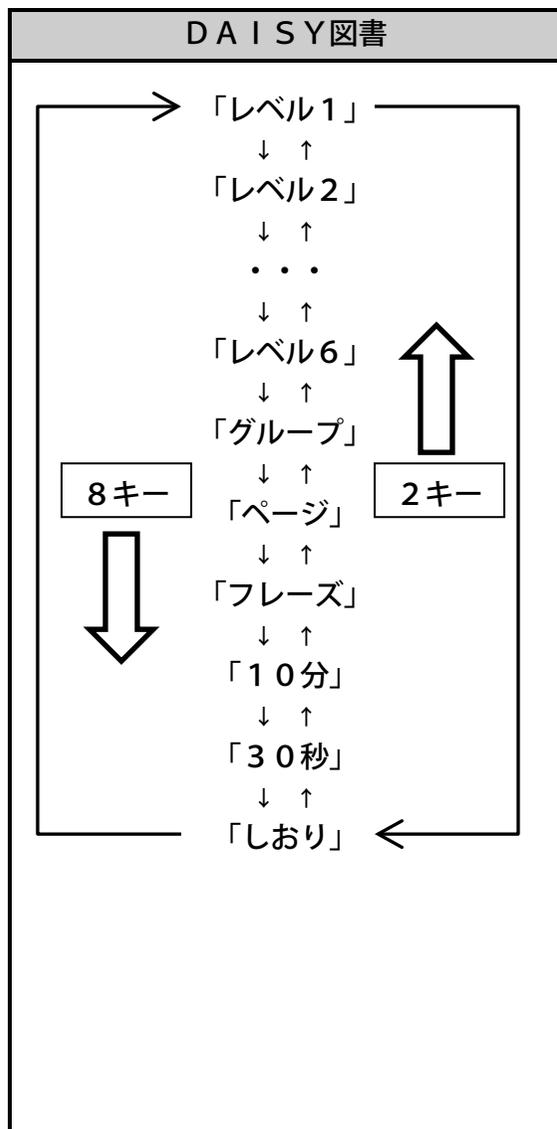
単位	説明
レベル1～6 (見出し)	DAISY図書の章、節、項などを意味します。 例えば、「レベル1」が章、「レベル2」が節、「レベル3」が項に相当します。 頭出しされる冒頭部分を「見出し」と呼びます。
グループ	レベルとは別に設定されている移動単位です。図表説明などの先頭・最後などに設定されていることがあります。
ページ	本のページに相当します。
フレーズ	文章を音読すると、文と文の区切り目のところに息つぎの間ができます。この間から次の間までのひと区切りの音声を「フレーズ」と呼びます。
10分	10分単位で移動します。
30秒	30秒単位で移動します。
しおり	ユーザーが好きな場所に付けられるしりしです。

<ポイント>

- DAISY図書によっては、「グループ」や「ページ」が設定されていない場合があります。
- テキストのみのDAISYの場合、「10分」「30秒」とは別に、テキストの移動単位である「40行」「段落」「1行」「文」「文字」を使用できます。

<移動単位を選択する>

移動単位を選択するには再生中に [2キー] または [8キー] を使用します。



<ポイント>

- 初めて移動単位を選択する際は、存在する最も低いレベルから始まります。上記例の場合はレベル6から始まります。
- DAISY図書によっては移動単位の中に存在しないものがあります。存在しない移動単位はガイドされません。
- [2キー] [8キー] を最初に押した際は、現在の移動単位が音声ガイドされます。

<前後に移動する>

[2キー] または [8キー] で移動単位を選択します。移動単位を選択し、[4キー] を押すと前へ移動、[6キー] で次へ移動することができます。

例) 「3章2節」に移動するには次のように操作します。

手順		音声ガイド
1	[2キー] または [8キー] を押して、「レベル1」を選択します。	「レベル1」
2	[6キー] を繰り返し押して、「3章」まで移動します。行き過ぎたら [4キー] で前に戻りましょう。	
3	[8キー] を押して、「レベル2」を選択します。	「レベル2」
4	[6キー] を繰り返し押して、「3章2節」まで移動します。行き過ぎたら [4キー] で前に戻りましょう。	

<移動時のポイント>

- 移動後は自動的に再生が始まります。
- 移動単位が存在しないときは、ガイドされません。

<レベル移動のポイント>

- 「レベル2」で移動すると、「レベル1」にも移動できます。「レベル3」で移動すると、「レベル1」と「レベル2」にも移動できます。

<グループ移動のポイント>

- 「グループ」と「グループ」の間に「レベル1～6」があった場合は、「レベル」にも移動します。

DAISY図書を繰り返し聴く

注) この機能はすっきりカバーを外した状態で使用します。

DAISY図書を再生中に [3キー] を押すたびにシャッフル・リピート設定を切り替えることができます。次のような設定ができます。

シャッフル・リピート設定 (音声ガイド)	概要
通常再生	タイトルの最後まで一度だけ再生します。(工場出荷時の設定)
タイトルリピート	選択されたタイトルを繰り返し再生します。

<ポイント>

- メニューからもシャッフル・リピート設定を切り替えることができます。

ダイレクト移動

注) この機能はすっきりカバーを外した状態で使用します。

番号を直接指定して移動することを「ダイレクト」移動と呼びます。「ページ」「見出し」「図書の先頭・最後」「特定の位置（パーセント指定）」に直接移動することができます。

<ページに移動する>

例) 「20ページ」に移動するには次のように操作します。

手順	音声ガイド
1 [移動キー] を押します。	「移動先のページ番号を入力」
2 数字の [2キー] [0キー] を押します。	「2」「0」
3 [再生・停止キー] または [#キー] を押して決定します。 20ページから再生が始まります。	「決定」「ページ20」 「～本文～」

<ポイント>

- 数字を間違えて入力した場合、[*キー] を押すと数字の誤入力をクリアできます。また、[*キー] を長く押すと、ダイレクト移動の操作をキャンセルできます。
- ページ数は6桁までしか入力できません。7桁以上の数字を入力するとクリアされます。

<見出し・先頭・最後に移動する>

例) 「5番目の見出し」に移動するには次のように操作します。

手順	音声ガイド
1 [移動キー] を2回押します。	「移動先の見出し番号を入力」・・・ 「番号なしでタイトルの先頭に移動」 「番号0でタイトル最後に移動」
2 数字の [5キー] を押します。	「5」
3 [再生・停止キー] または [#キー] を押して決定します。 5番目の見出しから再生が始まります。	「決定」「見出し5」 「～本文～」

<ポイント>

- 見出し番号とは、各タイトルの見出しに対して先頭から順番に振った番号です。
- 図書の先頭に移動する際は、数字を何も入力せず [再生・停止キー] または [#キー] を押します。
- 図書の最後に移動する際は、「0」を入力してから [再生・停止キー] または [#キー] を押します。
- 図書の最後付近を再生するには、最後に移動してから少し戻ってください。戻らずに [再生・停止キー] を押すと先頭に移動してしまいます。
- 最後に移動したはずなのに先頭に移動してしまった場合は、シャッフル・リピート設定が「タイトルリピート」になっている可能性があります。

<パーセント移動>

DAISY図書内の位置をパーセントで指定して移動できます。

例) 「50%の位置」に移動するには次のように操作します。

手順		音声ガイド
1	[移動キー] を3回押します。	「移動先の位置をパーセントで入力」
2	数字の [5キー] [0キー] を押します。	「5」「0」
3	[再生・停止キー] または [#キー] を押して決定します。 50%の位置から再生が始まります。	「決定」「50パーセント」 「～本文～」

移動を取り消す

<アンドゥ>

移動する前の再生位置に戻ることを意味します。移動した後に [*キー] を押すと、移動する前の位置に戻ることができます。1回分のみ有効です。2回押して二つ前の位置に戻ることはできません。

<リドゥ>

リドゥとは、アンドゥで元に戻した操作を取り消すことを意味します。アンドゥを行って移動する前の位置に戻った後、そのアンドゥを取り消したい場合に [#キー] を押すと、アンドゥは取り消され、移動先の位置に復帰します。1回分のみ有効です。2回押して2回分の操作を取り消すことはできません。

7章3 タイトルを選択して聴く

本製品はタイトルの選択方法を次の二つの設定から選べます。

設定	特徴
すべてのメディアから選択 (工場出荷時の設定)	タイトル選択を開始後は、[4キー] [6キー] だけで本製品に接続されたメディア内のすべてのタイトルを選択できるため、単純な操作で聴きたいタイトルを探すことができます。
メディアごとに選択	タイトル選択を開始後に、聴きたいタイトルが入っているメディアを選択し、そのメディアの中から[4キー] [6キー] で聴きたいタイトルを探します。メディアごとにタイトルを管理している場合に便利です。

本節では、はじめに「すべてのメディアから選択」の設定でタイトルを選択して聴く方法を説明します。

タイトル選択を開始する

複数のDAISY図書が保存されたCD、SDカードまたはUSB機器から聴きたいタイトルを選択して再生する場合は「タイトルキー」を使用します。

手順	音声ガイド
1 [タイトルキー] を押すと、タイトル選択を開始します。	「全タイトル一覧・・・」
2 [タイトルキー] を押すと、タイトル選択をキャンセルします。	「キャンセル」

タイトルを簡単に選択する

タイトル選択中は[4キー] で一つ前のタイトル、[6キー] で次のタイトルを選択できます。片方のキーのみを繰り返し押すことで本製品に接続されているメディア内にあるすべてのタイトルを探すことができます。

手順	音声ガイド
1 [タイトルキー] を押して、タイトル選択を開始します。	「全タイトル一覧・・・」
2 [4キー] を押すと一つ前のタイトルを、[6キー] を押すと次のタイトルを選択できます。	「タイトル名」など

3	[4キー] または [6キー] を繰り返し押し、再生したいタイトルを選びます。	「タイトル名」など
4	「再生したいタイトル名」がガイドされたら、[再生・停止キー] または [#キー] で決定すると再生を開始します。	「♪♪」 「～本文～」

<p><ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 選択中に [タイトルキー] または [*キー] を押すと、タイトル選択がキャンセルされ、タイトル選択開始前に再生していたタイトルに戻ります。 ● [4キー] [6キー] を長押しすると、10タイトルずつ移動することもできます。 ● [4キー] の代わりに [戻しキー]、[6キー] の代わりに [送りキー] で操作することもできます。 ● 一つのメディアに入れることができるタイトル数の上限は10,000個です。 		
---	--	--

タイトルを効率よく選択する

本製品ではメディアごとに、タイトルをカテゴリーに分けて次のように管理しています。探しているタイトルが入っているメディアやそのカテゴリーが分かっている場合は、はじめにその条件で絞り込むことで、より早く便利にタイトルを探することができます。

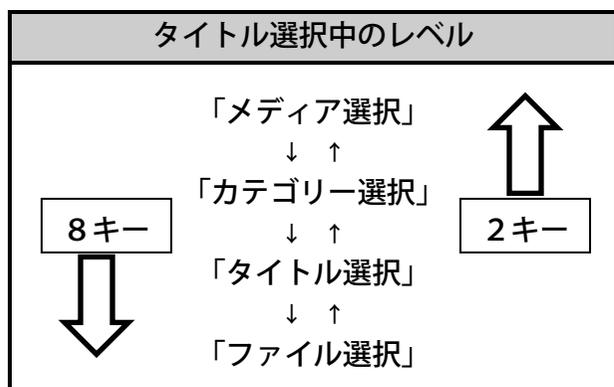
[2キー] [4キー] [6キー] [8キー] を使用します。

<タイトル管理のイメージ>

メディア 選択	SDカード、USB機器、ディスク				
カテゴリー 選択	図書	録音した DAISY	音楽	テキスト	オーディオ ブック
タイトル 選択	図書の タイトル	録音した DAISYの タイトル	音楽の アルバム	テキストの タイトル	オーディオ ブックの タイトル
ファイル 選択			音楽の トラック		オーディオ ブックの ファイル

<タイトル選択のレベル>

タイトル選択中は [2キー] または [8キー] でタイトル選択のレベルを選ぶことができます。



<ポイント>

- タイトル選択開始時は「タイトル選択」のレベルが選ばれています。
- 「ファイル選択」は、カテゴリが「音楽」または「オーディオブック」の場合のみ選択が可能となります。

次に各レベルを選択中に [4キー] または [6キー] で選択できる項目を説明します。

<メディア選択>

メディア選択中は [4キー] または [6キー] で次の項目が選択できます。

レベル	選択できるメディア
メディア選択	・・・⇔「ディスク」⇔「SDカード」⇔「USB機器」⇔「ディスク」⇔・・・

<ポイント>

- メディア選択は、本製品に接続されていないメディアは選べません。

<カテゴリ選択>

カテゴリ選択中は [4キー] または [6キー] で次の項目が選択できます。

レベル	選択できるカテゴリ
カテゴリ選択	・・・⇔「前のメディアのオーディオブック」⇔「図書」⇔「録音したDAISY」⇔「音楽」⇔「テキスト」⇔「オーディオブック」⇔「次のメディアの図書」⇔・・・

<ポイント>

- カテゴリ選択は、メディアに収録されていないカテゴリは選べません。
- 選択中のメディアの先頭のカテゴリで [4キー] を押すと、一つ前のメディアの最後のカテゴリに移動します。また、最後のカテゴリで [6キー] を押すと、次のメディアの先頭のカテゴリに移動します。

各カテゴリーに含まれるタイトルは次のとおりです。

カテゴリー	内容
図書	DAISY形式とEPUB形式の図書
録音したDAISY	「PlexRecording」フォルダに保存されたDAISY図書 ※当社製品によりDAISY形式で録音したデータ
音楽	MP3、WAV、AACなどの音声ファイル
テキスト	拡張子がtxt、htmlなどの文書ファイル
オーディオブック	「PlexAudioBook」という名前のフォルダに保存された再生可能な音声ファイル

<タイトル選択>

タイトル選択中は〔4キー〕または〔6キー〕で次の項目が選択できます。

レベル	選択できる項目
タイトル選択	カテゴリーごとのタイトルを選択することができます。

<ポイント>

- タイトル選択では選んだメディアやカテゴリーを超えて、タイトルを選択できます。
例) SDカードの最後のタイトルを選択中に〔6キー〕を押すと、USB機器の最初のタイトルに移動します。
- 選択中メディアのカテゴリーに10タイトル以上のタイトルがあるとき、〔4キー〕または〔6キー〕を長押しすると、10タイトルずつスキップすることができます。

<ファイル選択>

ファイル選択中は〔4キー〕または〔6キー〕で次の項目が選択できます。

レベル	選択できる項目
ファイル選択	音楽のトラック（曲）、オーディオブックの音声ファイルを選択することができます。

<ポイント>

- ファイル選択中は最後のファイルを選択中に〔6キー〕を押しても次のアルバムに移動できません。

<タイトル選択操作の例>

タイトルを実際に選択してみましょう。

例) SDカード内の4番目のDAISY図書を選択するには、次のように操作します。

手順		音声ガイド
1	[タイトルキー] を押し、タイトル選択を開始します。	「全タイトル一覧・・・」
2	[2キー] を2回押し、「メディア選択」を選択します。	「メディア選択」
3	[4キー] または [6キー] を何回か押し、「SDカード」を選択します。	「SDカード」
4	[8キー] を押し、「カテゴリー選択」を選択します。	「カテゴリー選択」
5	[4キー] または [6キー] を押し、「図書」を選択します。	「図書」
6	[8キー] を押し、[タイトル選択] を選択します。	「タイトル選択」
7	[4キー] または [6キー] を何回か押し、4番目のDAISY図書を選択します。	「4」「DAISY図書名」
8	[再生・停止キー] または [#キー] を押し決定します。	「～本文～」

タイトルを直接選択する

注) この機能はすっきりカバーを外した状態で使用します。

順番に並んだタイトルの番号を入力し、直接タイトルを選択することができます。

例) USB機器内の7番目の図書を選択するには、次のように操作します。

手順		音声ガイド
1	[タイトルキー] を押し、タイトル選択を開始します。	「全タイトル一覧・・・」
2	[2キー] を2回押し、「メディア選択」を選択します。	「メディア選択」
3	[4キー] または [6キー] を何回か押し、「USB機器」を選択します。	「USB機器」
4	[8キー] を押し、「カテゴリー選択」を選択します。	「カテゴリー選択」

5	[4キー] または [6キー] を押し、「図書」を選択します。	「図書」
6	[移動キー] を押します。	「移動先のタイトル番号を入力」
7	数字の [7キー] を押します。	「7」
8	[再生・停止キー] または [#キー] を押して決定します。	「決定」「タイトル選択図書7 (DAISY 図書名)」

<ポイント>

- 現在選択中のメディアを知りたい場合は [5キー] を押して情報を確認してください。
- 音楽やテキストなども操作方法は同じです。カテゴリ選択で「音楽」や「テキスト」などを選んでください。
- 数字を間違えて入力した場合、[*キー] を押すと数字の誤入力をクリアできます。

タイトルの並び順の切り替え

注) この機能はすっきりカバーを外した状態で使用します。

タイトル選択中は [しおりキー] で下記順にタイトルを並び替えることができます。

並び順	内容
全タイトル一覧	すべてのタイトルやトラックがカテゴリごとに名前の順番に並びます。
履歴タイトル	メディアやカテゴリに関係なく、最近聴いたタイトルが順番に並びます。100タイトルまで記憶します。
最近追加したタイトル	選択中のメディアの最近追加したタイトルが順番に並びます。(日付が新しい順番に並びます。) 100タイトルまで記憶します。
バックアップしたタイトル	選択中のメディアのバックアップされたタイトルが日付の新しい順番に並びます。1,000タイトルまで記憶します。 ※「オーディオブック」のタイトルは対象外となります。

<ポイント>

- 選択中のメディアによっては、選択できない並び順があります。

例) USB機器の「最近追加したタイトル」を選択するには、次のように操作します。

手順		音声ガイド
1	[タイトルキー] を押し、タイトル選択を開始します。	「全タイトル一覧・・・」
2	[2キー] を2回押し、「メディア選択」を選択します。	「メディア選択」
3	[4キー] または [6キー] を押し、「USB機器」を選択します。	「USB機器」
4	[しおりキー] を2回押します。	「最近追加したタイトル+番号+タイトル」
5	[4キー] または [6キー] でタイトルを選択します。	「番号+タイトル名」
6	[再生・停止キー] または [#キー] を押して決定します。	「～本文～」

<ポイント>

- 「履歴タイトル」は最近聴いたタイトルが順番に並ぶため、本製品に接続されていないメディアのタイトルや、既に削除されているタイトルも記憶されています。ただし、それらのタイトルは選択しても再生ができません。
- [4キー] または [6キー] を押し続けることで10タイトルずつ前や次のタイトルに移動します。
- 「移動キー」で番号を指定してタイトルを選択することもできます。
- 最近追加したタイトルとは、「パソコンから転送して追加したタイトル」と「バックアップしたタイトル」のことです。

タイトルの選択方法を変更して聴く

本項では、設定を「メディアごとに選択」に変更してタイトルを聴く方法を説明します。

<タイトルの選択方法の変更>

注) この機能はすっきりカバーを外した状態で使用します。

タイトルの選択方法を変更するには次のように操作します。

手順		音声ガイド
1	[メニューキー] を押し、[4キー] または [6キー] で「タイトル管理」を選択します。	「メニュー」 「タイトル管理」
2	[#キー] を押して決定します。	「決定」「項目を選択」

3	[4キー] または [6キー] で「タイトル選択」を選択します。	「タイトル選択」
4	[#キー] を押して決定します。	「決定」
5	[4キー] または [6キー] で「タイトル選択方法の切り替え」を選択します。	「タイトル選択方法の切り替え」
6	[#キー] を押して決定します。	「決定」
7	[4キー] または [6キー] で「メディアごとに選択」を選択します。	「メディアごとに選択」
8	[#キー] を押して決定します。	「決定」「設定しました」

<メディアごとに選択して聴く>

「メディアごとに選択」でタイトルを選択する際は、[タイトルキー] でタイトル選択を開始し、[タイトルキー] を繰り返し押し、タイトルを探すメディアを選択してからタイトルを選択します。それ以外のタイトル選択の操作は「すべてのメディアから選択」と同じです。

「メディアごとに選択」でタイトルを選択時に使用するのは次のキーです。

操作	使用するキー
1 タイトル選択を開始	[タイトルキー]
2 タイトルを探すメディアの選択	[タイトルキー]
3 タイトルの選択	[2キー] [4キー] [6キー] [8キー]
4 タイトル選択のキャンセル	[*キー] または [タイトルキー] を繰り返し押し押しメディアがひと回りする

例) SDカードのタイトルを再生中にUSB機器の4番目の図書を選択するには、次のように操作します。

手順	音声ガイド
1 [タイトルキー] を押し、タイトル選択を開始します。	「全タイトル一覧、SDカード・・・」

2	[タイトルキー] を1回押し、「USB機器」を選択します。	「USB機器」
3	[2キー] を押し、「カテゴリー選択」を選択します。	「カテゴリー選択」
4	[4キー] または [6キー] を押し、「図書」を選択します。	「図書」
5	[8キー] を押し、[タイトル選択] を選択します。	「タイトル選択」
6	[4キー] または [6キー] を何回か押し、4番目の図書を選択します。	「4」「DAISY図書名」
7	[再生・停止キー] または [#キー] を押して決定します。	「～本文～」

<ポイント>

- 「メディアごとに選択」では、本製品に接続されていないメディアもすべて [タイトルキー] で選択が可能です。はじめに選択されるメディアは再生していたタイトルによって都度変わりますが、選択できるメディアとメディアの並び順は毎回同じです。

<タイトル選択設定による主な相違点>

タイトル選択設定によるタイトル選択方法の主な相違点は以下となります。

設定 項目	すべてのメディアから選択	メディアごとに選択
タイトル選択の キャンセル	タイトル選択中に [タイトルキー] または [*キー]	[タイトルキー] を繰り返し押し、 メディアがひと回りする、または [*キー]
メディアの選択	[2キー] でメディア選択レベルを 選択し、[4キー] または [6キー]	[タイトルキー]
SDカード、US B機器、ディスク のメディア選択	本製品に接続されているメディア のみ選択可能	本製品に接続されていないメディ アもすべて選択可能
[4キー] または [6キー] で選択 可能なタイトル	本製品に接続されたすべてのメデ ィア内のタイトル	選択中のメディア内のタイトルの み
履歴タイトル	メディアに関係なく最近聴いた1 00個のタイトル	選択されているメディアの最近聴 いた100個のタイトル

8章 音楽を聴く

本製品では音楽CDや音声ファイルを聴くことができます。次の音声ファイル形式に対応しています。

- 音楽CD
- MP3ファイル • WAVファイル
- AACファイル • PCMファイル
- MP4/m4aファイル

8章 1 音楽CDを聴く

音楽CDを入れると自動で再生が始まります。再生・停止・早送り・早戻しの操作方法はDISY図書と同じです。

前後に移動する

[送りキー] または [戻しキー] を押すことで、前後のトラックに移動することができます。

例) 3曲目の「トラック3」を再生するには次のように操作します。

手順	音声ガイド
1 [送りキー] または [戻しキー] を何回か押して、「トラック3」を選択します。自動的に再生が始まります。	「トラック3」

<ポイント>

- 先頭の曲を選択中に [戻しキー] を押すと「コン」という音の後に「先頭です」とガイドされます。
- 最後の曲を選択中に [送りキー] を押すと「コン」という音の後に「最後です」とガイドされ、再生が止まります。
- [送りキー] または [戻しキー] を押し続けると、5秒、10秒、20秒、30秒、1分、2分、3分・・・と早送り、早戻しができます。2分を超えると指を離しても早送り、早戻しを続けますので、再生したい場所で [再生・停止キー] を押してください。

8章 2 音楽（音声ファイル）を聴く

SDカードや、USBメモリに入っている音声ファイルを聴くことができます。音楽を聴く場合もDAISY図書と同様にタイトルを選択して再生を開始します。操作方法は「7章3 タイトルを選択して聴く」46ページを参照ください。

再生・停止・早送り・早戻しの操作は音楽CDと同じです。音楽（音声ファイル）の再生では、再生を開始した後はメディア内にあるすべての音声ファイルを順番に再生します。

本項では、アルバムやトラックを変更して聴く方法、再生する範囲や順番を変更する「シャッフル・リピート設定」と、「お気に入り」に追加して聴きたい曲だけを聴く使い方について説明します。

<ポイント>

- 音楽のタイトル選択中の各レベルは、「タイトル選択」がアルバム単位、「ファイル選択」がトラック単位に相当します。
- 一つのメディアに入れることができるタイトル数の上限は10,000個です。

前後のアルバムやトラックなどに移動する

[2キー] または [8キー] で移動単位を選択し、[4キー] を押すと前へ移動、[6キー] を押すと次へ移動することができます。また、トラックやアルバムの番号を指定して直接移動することもできます。

<音楽の移動単位>

音楽を再生中は次の単位で移動できます。

単位	説明
アルバム	音楽CD1枚に相当するものです。
トラック	音楽1曲に相当するものです。
10分	10分単位で移動します。
30秒	30秒単位で移動します。
しおり	ユーザーが好きな場所に付けられるしりしです。

<ポイント>

- 音楽CDを再生中にはアルバム移動は使えません。

<聴きたいトラック・アルバムに移動する>

例) 「3つ目のアルバムの5曲目」に移動するには次のように操作します。

手順		音声ガイド
1	[2キー] または [8キー] を押して、「アルバム」を選択します。	「アルバム」「現在のアルバム名」
2	[6キー] を押して、「3つ目のアルバム」まで移動します。行き過ぎたら [4キー] で前に戻りましょう。	「アルバム名」「1曲目のトラック名」
3	[2キー] または [8キー] を押して、「トラック」を選択します。	「トラック」「現在のトラック名」
4	[6キー] を押して、「5曲目」まで移動します。行き過ぎたら [4キー] で前に戻りましょう。	「5曲目のトラック名」

<時間で移動する>

移動単位の「10分」「30秒」を選択して、10分または30秒ごとに移動することができます。

手順		音声ガイド
1	[2キー] または [8キー] を押して、「10分」を選択します。	「10分」
2	[6キー] を押すごとに10分ずつ先に移動します。[4キー] を押すごとに10分ずつ前に戻ります。	「～曲～」
3	[2キー] または [8キー] を押して、「30秒」を選択します。	「30秒」
4	[6キー] を押すごとに30秒ずつ先に移動します。[4キー] を押すごとに30秒ずつ前に戻ります。	「～曲～」

トラックやアルバムを番号で指定して移動する

<トラックの番号を指定して移動する>

注) この機能はすっきりカバーを外した状態で使用します。

例) トラック番号を指定して2番目のトラックに移動するには、次のように操作します。

手順		音声ガイド
1	[移動キー] を1回押します。	「移動先のトラック番号を入力・・・」
2	数字の [2キー] を押します。	「2」

3	[再生・停止キー] または [#キー] を押して決定します。 2番目のトラックから再生が始まります。	「ファイル名」
---	---	---------

<アルバムの番号を指定して移動する>

注) この機能はすっきりカバーを外した状態で使用します。

例) アルバム番号を指定して5番目のアルバムに移動するには、次のように操作します。

手順	音声ガイド	
1	[移動キー] を2回押します。	「移動先のアルバム番号を入力・・・」
2	数字の [5キー] を押します。	「5」
3	[再生・停止キー] または [#キー] を押して決定します。 5番目のアルバムから再生が始まります。	「アルバム名」

再生方法を変更する (シャッフル・リピート設定)

注) この機能はすっきりカバーを外した状態で使用します。

音声ファイルを再生中は、基本的には同一メディア内にある音声ファイルすべてが再生対象となります。「シャッフル・リピート設定」で再生範囲の変更ができます。

[3キー] を押すたびに次の設定ができます。

シャッフル・リピート設定 (音声ガイド)	概要
通常再生	同一メディア内にあるすべての曲を最初から最後まで一度だけ再生します。(工場出荷時の設定)
トラックリピート	再生中のトラック(曲)を繰り返し再生します。
アルバムリピート	再生中のアルバムのすべての曲を繰り返し再生します。
オールアルバムリピート	再生中のメディアのすべてのアルバムを繰り返し再生します。
シャッフルリピート	再生中のメディアのすべての曲をシャッフルして繰り返し再生します。

<ポイント>

- 音楽CDを再生中にはオールアルバムリピートはありません。
- 一つのメディアに入れることができるタイトル数の上限は10,000個です。

お気に入り登録して聴く

注) この機能はすっきりカバーを外した状態で使用します。

本製品は同一メディア内（CD除く）の音声ファイル（トラック）をお気に入りに追加して、聴きたい曲だけを聴くことができます。メディア毎に一つのお気に入りリストが作成できます。次にお気に入りの操作方法を説明します。

<お気に入りに登録する>

音楽再生中に [しおりキー] を押すと再生中のトラックをお気に入りに登録できます。

例) アルバム1の3曲目をお気に入りに登録するには、次のように操作します

手順	音声ガイド
1 3曲目まで、再生または移動します。	
2 [しおりキー] を1回押します。	「お気に入りに追加」 「現在のトラックをお気に入りに追加しますか？」 「トラック名」
3 [再生・停止キー] または [#キー] または [8キー] を押して決定します。	「お気に入りに追加しました」

<ポイント>

- お気に入りは1000件まで登録できます。
- 再生中のメディアが書き込み禁止になっていると、お気に入りに登録できません。
- すでにお気に入りに登録されているトラックは登録できません。
- 音楽CDやDAISY図書などはお気に入り登録できません。
- お気に入りに登録すると「最近追加したタイトル」に登録されます。

<お気に入りを聴く>

お気に入りを登録した後は、タイトル選択中に音楽カテゴリーで「お気に入り」が選択可能になります。「お気に入り」は常に音楽カテゴリーの1番目のアルバムとなります。準備ができたからお気に入りを聴いてみましょう。

例) USB機器に登録した「お気に入り」を聴くためには次のように操作します。

手順		音声ガイド
1	[タイトルキー] を押して、タイトル選択を開始します。	「全タイトル一覧」
2	[2キー] を2回押して、「メディア選択」を選択します。	「メディア選択」
3	[4キー] または [6キー] を押して、「USB機器」を選択します。	「USB機器」
4	[8キー] を1回押して、「カテゴリー選択」を選択します。	「カテゴリー選択」
5	[4キー] または [6キー] を押して、「音楽」を選択します。	「音楽」
6	[8キー] を1回押して、「タイトル選択」を選択します。	「タイトル選択」 「アルバム名」
7	[4キー] または [6キー] を押して、「お気に入り」を選択します。	「1」「お気に入り」
8	[再生・停止キー] または [#キー] を押して、決定します。	「～曲～」

<ポイント>

- 「お気に入り」の並び順は、登録順になります。1曲目は最初に登録したトラックで、最後の曲は一番最近登録したトラックになります。
- 「お気に入り」はバックアップできません。
- 「お気に入り」を選択中に [8キー] を押しても、「ファイル選択」には移動しません。
- 「お気に入り」には「しおり」を付けることはできません。

<お気に入りから削除する>

お気に入りに登録したトラックをお気に入りから削除するには、次のように操作します。

例) お気に入りの4曲目を削除するには、次のように操作します

手順	音声ガイド
1 「お気に入り」を選んで、再生します。	「～曲～」
2 4曲目まで、再生または移動します。	
3 [しおりキー]を押します。	「お気に入りから削除」「現在のトラックをお気に入りから削除しますか?」「トラック名」
4 [再生・停止キー]または[#キー]または[8キー]を押して決定します。	「お気に入りから削除しました」

例) お気に入りをすべて削除するには、次のように操作します

手順	音声ガイド
1 タイトル選択で「お気に入り」を選択します。	「1」「お気に入り」
2 [7キー]を押します。	「お気に入り削除」「お気に入りを削除しますか?」
3 [再生・停止キー]または[#キー]または[8キー]を押して決定します。	「決定」「削除しました」

<ポイント>

- 選択中のメディアが書き込み禁止になっていると、お気に入りから削除できません。
- 削除しても「お気に入り」の再生リストから削除されるだけで、ファイル自体の削除はされません。

9章 テキストを聴く

テキストの再生・停止・早送り・早戻しの操作はD A I S Y図書と同じです。
本製品は次のテキストファイル形式に対応しています。

- ・テキスト形式ファイル
- ・HTML形式ファイル

<ポイント>

- テキストの場合は、[送りキー]または[戻しキー]を押し続けると、「5文、10文、15文、・・・」と早送り、早戻しされます。指を離すと自動的に再生が始まります。
- 読み上げ可能なファイルサイズは最大9MBまでです。

9章1 テキスト内を移動して聴く

テキストファイル内を前後に移動して聴く

テキストファイル内を次のような単位で移動することができます。移動単位はD A I S Y図書とは異なりますが、移動時の操作方法は基本的にD A I S Y図書再生時と同じです。

<テキストの移動単位>

テキスト再生中は次の単位で移動できます。

単位	説明
レベル1～6 (HTML形式ファイルのみ)	HTML形式ファイル内のレベル1からレベル6までの見出しです。
40行	40行をひとかたまりと見なして移動します。
段落	空白の行で区切られた文です。
行	1行ずつ移動します。
文	句点「。」、疑問符「?」、感嘆符「!」で区切られた一文です。
文字	一文字ずつ移動します。
しおり	ユーザーが好きな場所に付けられるしりしです。

<テキストファイル内の移動>

テキストファイル内で移動する方法を説明します。

例) 3段落目の2つ目の文を読ませるには次のように操作します。

手順		音声ガイド
1	[2キー] または [8キー] で「段落」を選択します。	「段落」
2	[6キー] で「三つ目の段落」まで移動します。 行き過ぎたら [4キー] で前に戻りましょう。	「～本文～」
3	[2キー] または [8キー] で「文」を選択します。	「文」
4	[6キー] を押して、「二つ目の文」まで移動します。 行き過ぎたら [4キー] で前に戻りましょう。	「～本文～」

ダイレクト移動：パーセント移動

注) この機能はすっきりカバーを外した状態で使用します。

ダイレクト移動には [移動キー] を使用します。テキストファイル内の位置をパーセントで指定して移動できます。

例) 「50%の位置」に移動するには次のように操作します。

手順		音声ガイド
1	[移動キー] を1回押します。	「移動先の位置をパーセントで入力」
2	数字の [5キー] [0キー] を押します。	「5」「0」
3	[再生・停止キー] または [#キー] を押して決定します。 50%の位置から再生が始まります。	「決定」「50パーセント」「～本文～」

テキストファイルを繰り返し聴く

注) この機能はすっきりカバーを外した状態で使用します。

テキストファイルを再生中は [3キー] を押すたびにシャッフル・リピート設定を切り替えることができます。次のような設定ができます。

シャッフル・リピート設定 (音声ガイド)	概要
通常再生	タイトルの最後まで一度だけ再生します。(工場出荷時の設定)
タイトルリピート	選択されたタイトルを繰り返し再生します。

10章 オーディオブックを聴く

本製品ではオーディオブックを聴くことができます。オーディオブックとは書籍などを音声化したものです。DAISY図書とは異なる形式で収録されています。再生・停止・早送り・早戻しの操作方法は音楽と同じです。

<ポイント>

- パソコンで「PlexAudioBook」（すべて半角文字）というフォルダをメディアのルートフォルダに作り、さらにタイトルごとのフォルダを作って、そこに保存してください。ひとつひとつのフォルダが「オーディオブック」のタイトルとして認識されます。
- 「PlexAudioBook」以外の場所に保存すると「音楽」に分類されます。
- 英会話や落語などの音声ファイルを「音楽」として再生させたくない場合は、「PlexAudioBook」フォルダの中に保存してください。

10章1 オーディオブックの移動単位

<前後に見出しや時間で移動する>

DAISY図書と同様の操作方法で、オーディオブックでも〔2キー〕または〔8キー〕で移動単位を選択し、〔4キー〕で前へ、〔6キー〕で次へ移動することができます。

オーディオブック内では次の単位で移動することができます。

単位	説明
見出し	個々の音声ファイルで移動します。
10分	10分単位で移動します。
30秒	30秒単位で移動します。
しおり	ユーザーが好きな場所に付けられるしりしです。

<ダイレクト移動する>

注) この機能はすっきりカバーを外した状態で使用します。

オーディオブックでは見出し番号やパーセントを指定して移動できます。

「移動キー」を1回押すと「見出し」で、2回押すと「パーセント」を指定して直接移動することができます。

1 1 章 おやすみタイマー

設定した時間で電源を自動的にOFFにします。DAISY図書などを聴きながらおやすみになりたいときに設定しておく便利です。おやすみタイマーの時間は次のように設定します。

手順		音声ガイド
1	「おやすみタイマーキー」を押します。1回押すと「15分」に設定されます。	「おやすみタイマー15分」「設定しました」
2	音声ガイドが流れている間に、もう1回押すと「30分」に再設定されます。	「30分」「設定しました」
3	音声ガイドが流れている間に、「おやすみタイマーキー」を押していくと、「45分」「1時間」「1時間30分」「2時間」「OFF」と再設定されます。	「45分」「1時間」「1時間30分」「2時間」「OFF」

<ポイント>

- 設定後、数秒間経過してから「おやすみタイマーキー」を押すと、おやすみタイマーの残り時間が音声でガイドされます。
- 設定後におやすみタイマーを取り消すには、おやすみタイマーの残り時間が音声ガイドされている間に、手順3の方法で「OFF」に設定します。

1 2 章 機器の現在の情報を聴く

情報を聴く

選択中のDAISY図書や音楽などに関する情報を音声ガイドで聴くことができます。

手順		音声ガイド
1	[5キー]を押します。下の表に示す情報が順番にガイドされます。	「～タイトル情報など～」・・・
2	[5キー]または[6キー]を押すごとに次の項目にスキップできます。前の項目を聴き直したいときは[4キー]を押します。	
3	[再生・停止キー]を押すと情報のガイドが終了します。	

<音声ガイドされる情報一覧>

データ	情報の項目 (ガイド順)
DAISY図書	電源→時間→ページ→見出し→しおり→再生方法→プレクストーク情報
音楽	電源→時間→トラック→アルバム→しおり→再生方法→プレクストーク情報
ヘルプ	電源→ページ→見出し→しおり→再生方法→プレクストーク情報
オーディオブック	電源→時間→見出し→しおり→再生方法→プレクストーク情報
テキスト	電源→進捗情報→しおり→再生方法→プレクストーク情報
メニュー選択中	現在選択中のメニュー

<ポイント>

- DAISY図書や音楽などの種類によっては、音声ガイドされない項目があります。

現在の日時を確認する

現在の日時を確認するには次のように操作します。

手順	音声ガイド
1 [5キー] を長押しします。	「午前（午後）・・・時・・・分」 「・・・年・・・月・・・日・曜日」

<ポイント>

●現在の日時を設定する方法は、「時計設定」92ページを参照してください。

13章 しおりを利用する

注) この機能はすっきりカバーを外した状態で使用します。

本製品では、DAISY図書、音楽、オーディオブック、テキストの好きなどところに、あとで読み返す、または聴き返す際の目印として、「しおり」を付けることができます。

13章1 しおりを付ける

今聴いているタイトルの好きなどところに「しおり」を付けることができます。

これから、その「しおり」を付ける方法を説明します。

手順		音声ガイド
1	しおりを付けたい位置に移動します。	
2	〔しおりキー〕を2回押します。	「設定するしおり番号を入力」
3	付けたいしおり番号を押します。〔3キー〕を押してみましょう。	「3」
4	〔再生・停止キー〕または〔#キー〕を押して決定します。	「決定」「しおり3設定しました」

<ポイント>

- 選択中タイトルが音楽の場合は、〔しおりキー〕を3回押します。
- 手順3を省略して手順4を行うと、「しおり」の番号として、現在使われていない番号のうちの最も小さな番号が自動的に割り付けられます。また、手順3で番号「0」を入力した場合も、自動的に番号が割り付けられます。
- 「しおり」の番号はタイトルごとに付けられます。

<しおりの保存先>

「しおり」を付けたとき、「しおり」はそのタイトルのあるメディア内に保存されます。また、タイトルと一緒に「しおり」もバックアップされます。「しおり」もタイトルと一緒に持ち運びできるので、他のPTN3で聴くときなどに便利です。このしおりは、PTN3やPTR3でご使用いただけます。

<ポイント>

- CDの場合には、本製品内に保存されます。
- メディアが書き込み禁止となっている場合には、そのメディア内のタイトルに「しおり」を付けることはできません。
- PTN3で付けたしおりは、当社製品「PTR2」「PTN2」「プレクストークポケット」「プレクストークリンクポケット」を含む、2016年以前発売の製品では使用できません。

<設定できるしおりの数>

一つのタイトルに付けることができる「しおり」の数は、最大1,000個までとなります。「しおり」を付けることができるメディア内のタイトル数は、最大1,000タイトルまでとなります。ただし、保存しているメディアの容量などにより変わる場合があります。

<ポイント>

- 「しおり」を付けることができない場合には、不要な「しおり」を削除してください。

13章2 しおりの位置に移動する

今聴いているタイトルに付けた「しおり」に移動することができます。

前後のしおりの位置に移動する

今聴いている位置から前後にある「しおり」に移動する方法です。

手順	音声ガイド
1 [2キー]または[8キー]を何回か押して、「しおり」を選択します。	「レベル1」「レベル2」... 「しおり」
2 [6キー]を押すと次の番号の「しおり」、[4キー]を押すと前の番号の「しおり」に移動します。	「しおり」「3」

<ポイント>

- 「しおり」が1つも付いていない場合には、手順1で「しおり」を選択することができません。

番号を指定して移動する

例) しおり番号を指定して、3番のしおりに移動するには、次のように操作します。

手順		音声ガイド
1	「しおりキー」を1回押します。	「移動先のしおり番号を入力」
2	「しおり」の番号の「3キー」を押します。	「3」
3	「再生・停止キー」または「#キー」を押して決定します。しおり番号3の位置から再生されます。	「決定」 「しおり3」

<ポイント>

●選択中タイトルが音楽の場合は、「しおりキー」を2回押します。

1 3章3 しおりを削除する

今聴いているタイトルに付けた「しおり」が不要になった場合、「しおり」を削除することができます。

しおりを削除する

例) しおり番号 4のしおりを削除するには、次のように操作します。

手順		音声ガイド
1	「しおりキー」を3回押します。	「削除するしおり番号を入力」
2	「しおり」の番号の「4キー」を押します。	「4」
3	「再生・停止キー」または「#キー」を押して決定します。	「決定」 「しおり4 削除しました」

<ポイント>

●選択中タイトルが音楽の場合は、「しおりキー」を4回押します。

選択中のタイトルのしおりを削除する

今聴いているタイトルに付けたすべての「しおり」を削除する方法です。

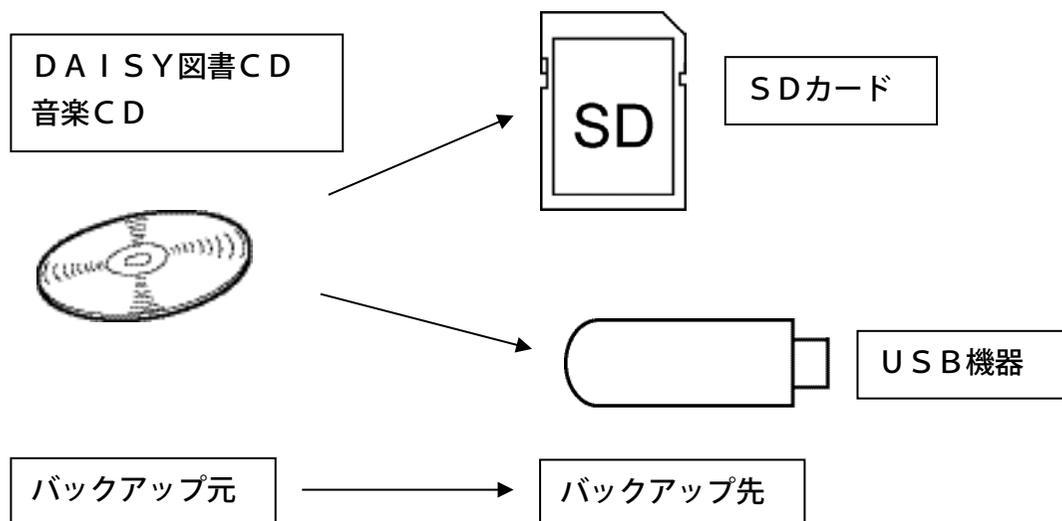
手順	音声ガイド
1 [メニューキー] を押し、[4キー] または [6キー] で「タイトル管理」を選択します。	「メニュー」 「タイトル管理」
2 [#キー] を押して決定します。	「決定」 「項目を選択」
3 [4キー] または [6キー] で「しおり」を選択します。	「しおり」
4 [#キー] を押して決定します。	「決定」 「項目を選択」
5 [4キー] または [6キー] で「選択中タイトルのしおりを削除」を選択します。	「選択中タイトルのしおりを削除」
6 [#キー] を押して決定します。	「決定」 「選択中タイトルのしおりを削除しますか？」
7 [#キー] を押して決定します。	「決定」 「削除しました」

14章 図書や音楽などをバックアップする

注) この機能はすっきりカバーを外した状態で使用します。

14章1 「バックアップ」について

本製品では、DAISY図書CDや音楽CDなどをバックアップすることができます。



CDをSDカードにバックアップする場合、CDに収録されているタイトルを「バックアップ元」、SDカードを「バックアップ先」と呼びます。

<注意>

- 本製品は著作権法で許された範囲のコピー（私的使用のための複製、あるいは、著作権法37条3項に定められた視覚障がい者のための用途）のみを目的として使用するものです。違法コピーは民事上または、刑事上の制裁を受ける場合があります。
- 音楽CD等のコピーは個人として楽しむ他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- バックアップ中にSDカードやUSB機器を抜いたり、本製品の電源を切ったりしないでください。データが失われる可能性があります。

<ポイント>

- バックアップは、電源アダプターを接続して行ってください。バッテリーのみで行うと、バッテリーが不足して、バックアップが強制的に終了してしまう場合があります。
- バックアップ先の容量が足りない場合は、バックアップを開始する際に、その旨を音声ガイドします。現在のメディアの使用容量・空き容量は、[メニューキー]を押して[メディア管理] → [メディア情報]で確認することができます。

14章2 D A I S Y 図書をバックアップする

D A I S Y 図書をバックアップする

D A I S Y 図書CDをSDカードまたはUSB機器にバックアップすることができます。

手順		音声ガイド
1	SDカードやUSB機器を本製品に接続します。	
2	D A I S Y 図書CDを入れます。	「ディスク、図書」
3	数字の [9キー] を押します。	「バックアップ」
4	[4キー] または [6キー] でバックアップ先メディアを選択して、[#キー] で決定します。	「バックアップ先メディアを選択」
5	確認の音声ガイドがあります。[#キー] を押すとバックアップが始まります。	「選択中のタイトルを〇〇へバックアップしますか？」
6	バックアップ中は処理中音が鳴り続け、バックアップが終了すると音声ガイドがあります。	「バックアップ 100%完了しました」

<ポイント>

- 手順2) でD A I S Y 図書CDに複数のタイトルがある場合、[タイトルキー] を押し、[4キー] または [6キー] でバックアップしたいタイトルを選択してください。
- SDカードまたはUSB機器のどちらか一方のみが接続されている場合は、手順4) の確認はありません。バックアップ先は自動的に接続されているメディアになります。
- 手順4) でバックアップ先メディアとして選択できるメディアはSDカード、USB機器です。本体に接続されていないメディアは選択できません。
- USB機器にD A I S Y 図書をバックアップする場合のみ、手順4) の後にPTR2で再生できる形式でバックアップするか確認があります。バックアップしたものをPTR2で再生する場合は「編集準備を実行する」を選択してください。
- 見出しが1,000個以上あるD A I S Y 図書はバックアップできません。
- タイトルの一部分のみをバックアップすることはできません。選択したタイトルのすべてがバックアップされます。
- バックアップ元に複数のタイトルがある場合、1度に複数のタイトルをバックアップすることはできません。1タイトルずつバックアップしてください。
- タイトルに「しおり」がある場合、「しおり」も一緒にバックアップします。
- バックアップ中は[5キー] で、進捗状況を確認できます。
- バックアップをキャンセルするには、[2キー] または [*キー] を押してください。
- [メニュー] の [タイトル管理] からバックアップができます。

PTR2で再生できる形式でバックアップする

バックアップしたDAISY図書をPTR2で再生するためには、バックアップ先メディアとしてUSB機器を選択し、バックアップの際に編集準備を実行してください。SDカードを選択した場合は、編集準備は実行できません。

例) 編集準備を実行してバックアップするには、次のように操作します。

手順		音声ガイド
1	バックアップしたいDAISY図書を選択し、数字の[9キー]を押します。	「バックアップ」
2	[4キー]または[6キー]で「USB機器」を選択して、[#キー]で決定します。	「バックアップ先メディアを選択」「USB機器」
3	編集準備を実行するか確認のガイドがあります。[4キー]または[6キー]で「編集準備を実行する」を選択して、[#キー]で決定します。	「PTR2で再生できるように編集準備を実行しますか」「編集準備を実行する」
4	確認の音声ガイドがあります。[#キー]を押すとバックアップが始まります。	「選択中のタイトルをUSB機器へバックアップしますか？」
5	バックアップ中は処理中音が鳴り続け、バックアップが終了すると音声ガイドがあります。	「バックアップ 100%完了しました」

<ポイント>

- 編集準備を実行してバックアップしたタイトルはPTN3でも再生できます。

1 4 章 3 音楽をバックアップする

音楽では、アルバム内のすべてのトラックを別メディアにバックアップしたり、好みのトラックだけを選択してマイベストアルバムにバックアップしたりすることができます。

アルバムをバックアップする

例) 音楽CDをSDカードにバックアップするには、次のように操作します。

手順	音声ガイド
1 音楽CDを入れます。	
2 数字の [9キー] を押します。	「バックアップ」 「バックアップ方法を選択」
3 [4キー] または [6キー] で「アルバムをバックアップ」を選択し、[#キー] で決定します。	「アルバムをバックアップ」
4 [4キー] または [6キー] で「SDカード」を選択して、[#キー] で決定します。	「バックアップ先メディアを選択」 「SDカード」
5 [4キー] または [6キー] でバックアップ音質を選択し、[#キー] を押して決定します。	「音楽CDのバックアップ音質を選択」
6 [4キー] または [6キー] でカテゴリーを選択し、[#キー] を押して決定します。	「バックアップ先のカテゴリーを選択してください」
7 確認の音声ガイドがあります。[#キー] を押すとバックアップが始まります。	「選択中のタイトルをSDカードへバックアップしますか？」
8 バックアップ中は処理中音が鳴り続け、バックアップが終了すると音声ガイドがあります。	「バックアップ 100%完了しました」

<ポイント>

- 一度に複数のアルバムをバックアップすることはできません。
- SDカードまたはUSB機器のどちらか一方のみが接続されている場合は、手順4)の確認はありません。バックアップ先は自動的に接続されているメディアになります。
- 選択可能な音質は、音質が良い順番に、PCM 44.1kHzステレオ、MP3 256k ステレオ、MP3 128k ステレオの3種類です。バックアップ音質が良いほどバックアップ先に多くの容量が必要になります。
- 選択可能なカテゴリーは、「音楽」と「オーディオブック」です。落語や英会話などのCDを「音楽」のカテゴリーと区別してバックアップしたい場合は、バックアップ先のカテゴリー選択で「オーディオブック」を選択してください。
- バックアップ音質とカテゴリーは、音楽CDからバックアップする場合のみ選択できません。

トラックを選択してバックアップする

お気に入りの曲だけを選択して一つのアルバムにまとめることもできます。バックアップ先アルバムとして選択できるのは「マイベスト01」～「マイベスト10」の10個のアルバムです。マイベストアルバムは「トラックを選択してバックアップ」を実行すると自動的に作成されます。

例) SDカード内のアルバムの2番目と4番目のトラックを選択してSDカード内の「マイベスト01」にバックアップするには、次のように操作します。

手順		音声ガイド
1	SDカード内のアルバムを選択し、数字の[9キー]を押します。	「バックアップ」「バックアップ方法を選択」
2	[4キー]または[6キー]で「トラックを選択してバックアップ」を選択し、[#キー]で決定します。	「トラックを選択してバックアップ」
3	[4キー]または[6キー]で2番目のトラックを選択して、[しおりキー]でバックアップを予約します。	「バックアップするトラックを選択」「選択したトラックをバックアップ予約」
4	[4キー]または[6キー]で4番目のトラックを選択して、[しおりキー]でバックアップを予約します。	「選択したトラックをバックアップ予約」
5	[#キー]でバックアップするトラックを決定します。	

6	[4キー] または [6キー] でバックアップ先メディアに「SDカード」選択して、[#キー] で決定します。	「バックアップ先メディアを選択」 「SDカード」
7	[4キー] または [6キー] で保存先のアルバムに「マイベスト01」を選択して、[#キー] で決定します。	「保存先のアルバムを選択」 「マイベスト01」
8	確認の音声ガイドがあります。[#キー] を押すとバックアップが始まります。	「選択中のタイトルをSDカードへバックアップしますか？」
9	バックアップ中は処理中音が鳴り続け、バックアップが終了すると音声ガイドがあります。	「バックアップ 100%完了しました」

<ポイント>

- バックアップ予約を取り消すには、バックアップ予約されたトラックを選択して再度[しおりキー] を押してください。
- [しおりキー] を長押しすると、すべてのトラックがバックアップ予約され、もう一度[しおりキー] を長押しすると、バックアップ予約がすべて取り消されます。
- 複数のトラックをバックアップした場合の並び順は、バックアップ元のアルバムに並んでいた順番になります。[しおりキー] でバックアップ予約を付けた順番ではありません。
- バックアップ先のアルバムにすでにトラックが入っている場合は、アルバムの最後に新しいトラックが追加されます。
- マイベストアルバムには、最大999トラックをバックアップすることができます。
- マイベストアルバムの名前を変更するには、SDカードやUSB機器をパソコンなどに接続してフォルダ名を変更してください。その際、保存されているフォルダの階層は変更しないでください。
- マイベストアルバムの名前を変更した場合も、そのアルバムに「トラックを選択してバックアップ」で追加することが可能です。
- マイベストアルバムは各メディアの以下のフォルダに作られます。
『P l e x B a c k u p / M u s i c / M y B e s t』
- 「マイベスト01」～「マイベスト10」は一度削除したり、名前を変更したりしても、「トラックを選択してバックアップ」を実行すると空のアルバムが再度作成されます。

マイベストアルバムを聴く

作成したマイベストアルバムは、各メディアの音楽カテゴリーから聴くことができます。タイトル選択中は次のような順で並びます。聴きたいマイベストアルバムを選択して聴くことができます。

アルバムの並び順

「お気に入り」⇔「マイベスト01」・・・「マイベスト10」⇔「既存のアルバム」

<ポイント>

- トラックが入っていないマイベストアルバムは選択できません。
- お気に入りが登録されていない場合は「お気に入り」は選択できません。

14章4 バックアップ先に作られるフォルダ名

バックアップしたタイトルはカテゴリーごとに各メディアの次のフォルダの中に保存されます。

バックアップ元	バックアップ先のフォルダ名
図書	「PlexBackup」フォルダ内の「Book」フォルダ
録音したDAISY	「PlexBackup」フォルダ内の「Recording」フォルダ
音楽	「PlexBackup」フォルダ内の「Music」フォルダ
テキスト	「PlexBackup」フォルダ内の「Text」フォルダ
オーディオブック	「PlexAudioBook」フォルダ内の「Backup」フォルダ

保存されるフォルダ名は次の通りです。

カテゴリー	保存されるフォルダ名
図書	「西暦年月日_時分_元のタイトル名」
音楽（音楽CD）	「西暦年月日_時分_AudioCD」
音楽（音楽CD以外）	「元のフォルダ名」

15章 タイトル・ファイルを削除する

注) この機能はすっきりカバーを外した状態で使用します。

選択中のタイトルやファイルを削除するには次のように操作します。

手順	音声ガイド
1 削除したいタイトルやファイルを選択します。	
2 タイトルを削除する場合は、[Fキー]を押します。 ファイルを削除する場合は、[Fキー]を2回押します。	「タイトル削除」「選択中のタイトルを削除しますか？」 または 「ファイル削除」「選択中のファイルを削除しますか？」
3 [#キー]を押して決定します。	「決定」「削除しました」

<ポイント>

- 音楽を選択している場合は「アルバム削除」になります。
- DAISY図書およびテキストではファイル削除はできません。
- サブフォルダを含むアルバム構成の場合、選択中アルバムの音声ファイルを削除しますが、サブフォルダに含まれる音声ファイルは削除しません。
- [メニュー]の[タイトル管理]からもタイトル削除やファイル削除ができます。

16章 パソコンと接続する

16章1 本製品とパソコンをUSBケーブルで接続する

本製品をパソコンと接続すると、本製品はリムーバブルディスク（USBドライブ）として認識され、パソコンから本製品のSDカードのファイルを読み書きすることができます。

パソコンの動作環境

対応OSは、Windows 10、11です。これらのOS以外での動作は保証いたしません。

使用できるUSBケーブル

本製品をパソコンと接続するためには、一方がスタンダードAタイプ、もう一方がスタンダードBタイプのコネクタをもつUSBケーブル（スタンダード）が必要です。本製品にはUSBケーブルは付属していませんので、別途ご用意ください。

パソコンと接続する

手順		音声ガイド
1	本製品に電源アダプターを接続します。	
2	パソコンのUSBポートに、USBケーブルのUSBタイプAコネクタ側を接続します。	
3	本製品にUSBケーブルのタイプBコネクタ側を接続します。接続する端子は本製品左側面の一番奥です。	
4	パソコンのコンピューター（エクスプローラー）上で、本製品のSDカードがリムーバブルディスクとして認識されます。	「SDカード」

<ポイント>

- 本製品のCDドライブおよび本製品に接続しているUSB機器は、パソコンから認識されません。

データの転送

パソコン内のフォルダやファイルを本製品のSDカードに転送することができます。また、本製品のSDカード内のフォルダやファイルをパソコンに転送することもできます。

<ポイント>

- データの転送中は、本製品の電源を切ったり、USBケーブルやSDカードを抜いたりしないでください。データが壊れる場合があります。
- DAISY図書のファイルを転送する場合は、フォルダごとコピーするか、または、新しいフォルダを作って、その中にコピーしてください。
- DAISY図書のフォルダ内のファイルをルートフォルダに転送すると、そのDAISY図書しか認識できなくなりますので、ご注意ください。

パソコンから取り外す

<方法1>

手順	
1	パソコンの画面右下のタスクトレイにある「ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す」を左クリックします。
2	「P l e x t a l k P T N 3 の取り出し」を左クリックします。
3	「USB 大容量記憶装置はコンピューターから安全に取り外すことができます」などと表示されたダイアログまたはバルーンを閉じます。
4	本製品からUSBケーブルを外します。

<方法2>

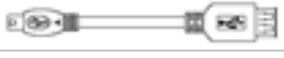
手順	
1	パソコンを終了し、本製品の電源を切ります。
2	USBケーブルを外します。

16章2 本製品とプレクストークポケット・プレクストークリンクポケットを接続する

本製品を当社製品「プレクストークポケット」や「プレクストークリンクポケット」と接続すると、本製品は「プレクストークポケット」や「プレクストークリンクポケット」からUSB機器として操作できます。

使用するUSBケーブル

「プレクストークポケット」や「プレクストークリンクポケット」と接続するためには、次の2本のケーブルが必要です。本製品には付属しておりませんので、別途ご用意ください。

必要なケーブル	説明
USBケーブル (短) 	「プレクストークポケット」や「プレクストークリンクポケット」に付属しています。 一方がUSB ミニBのコネクタで、もう一方がUSBスタンダードタイプAメスコネクタをもつUSBケーブルです。
USBケーブル (スタンダード)	本製品をパソコンと接続するときにも使用するケーブルです。 一方がスタンダードタイプA、もう一方がスタンダードタイプBのコネクタをもつUSBケーブルです。

接続する

本製品を「プレクストークポケット」や「プレクストークリンクポケット」と接続する方法をご説明します。

「プレクストークリンクポケット」との接続を例にご説明します。

手順	
1	本製品と「プレクストークリンクポケット」に電源アダプターを接続します。
2	本製品と「プレクストークリンクポケット」を電源ONします。
3	本製品にSDカードが入っていることを確認します。
4	「プレクストークリンクポケット」のUSBポートに、USBケーブル (短) のUSB ミニBコネクタ側を接続します。

5	「プレクストークリンクポケット」に接続したUSBケーブル（短）のタイプAメスコネクタに、USBケーブル（スタンダード）のタイプAコネクタ側を接続します。
6	本製品にUSBケーブル（スタンダード）のタイプBコネクタ側を接続します。接続する端子は本製品左側面の一番奥です。
7	接続すると本製品では「SDカード」と、「プレクストークリンクポケット」では「USB機器」と音声ガイドされます。これで接続が完了します。

接続してできること

本製品を「プレクストークポケット」や「プレクストークリンクポケット」にUSB機器として接続することで、「プレクストークポケット」や「プレクストークリンクポケット」からはUSB機器に対してできるすべての操作を行うことができます。

個々の操作方法は「プレクストークポケット」または「プレクストークリンクポケット」の取扱説明書をご確認ください。

取り外す

本製品を「プレクストークポケット」や「プレクストークリンクポケット」から取り外す方法をご説明します。

ここでは「プレクストークリンクポケット」との接続を例にご説明します。

手順	
1	「プレクストークリンクポケット」でバックアップなどの操作が完了していることを確認します。
2	「プレクストークリンクポケット」の電源をOFFします。
3	本製品と「プレクストークリンクポケット」からUSBケーブルを抜き取ります。

17章 メニューから機器の設定を行う

17章1 メニュー 階層一覧

メニューの階層を一覧形式で紹介します。

※メディアやタイトルによっては選択できないメニューがあります。

メニューを選択

- ト→ト→タイトル管理
 - ト→ト→バックアップ
 - ト→タイトル情報
 - ト→タイトル選択
 - ト→ト→タイトル選択方法の切り替え
 - ト→ト→履歴タイトル一覧の消去
 - ト→しおり
 - ト→ト→選択中タイトルのしおりを削除
 - ト→タイトル・アルバム削除
 - ト→ト→ファイル削除
- ト→再生設定
 - ト→ト→シャッフル・リピート設定
 - ト→マルチメディア図書再生設定
 - ト→ト→飛ばし読み
- ト→メディア管理
 - ト→ト→メディア情報
 - ト→ト→SDカード内容全消去
 - ト→ト→USB機器のメディア内容全消去
- ト→システム設定
 - ト→ト→ガイド音量の選択
 - ト→ト→ガイドスピードの選択
 - ト→ト→テキスト読み上げ音声の選択
 - ト→ト→待ち受け音の選択
 - ト→ト→キー受付音の選択
 - ト→ト→時計設定
 - ト→ト→テキスト読み上げの設定
 - ト→ト→バッテリーいたわりモード
 - ト→ト→バッテリーリフレッシュ
 - ト→ト→バッテリーリフレッシュの実行
 - ト→ト→前回の実行結果
 - ト→ト→完了後の電源状態
 - ト→ト→補正結果の初期化
 - ト→ト→設定の初期化
- ト→ト→バージョン管理
 - ト→ト→プレクストークの情報

17章2 メニューの操作方法

メニューの開始・終了やメニュー項目の選択・決定・キャンセルは次のように操作します。

<メニューの開始・終了>

操作	使用するキー
1 メニューの開始	[メニューキー]
2 メニューの終了 ※メニューのどの場所からでも終了できます。	[メニューキー]

<メニュー項目の選択・決定・キャンセル>

操作	使用するキー
1 項目の選択 ※ [5キー] で選択中の項目名を音声ガイド	[4キー] または [6キー]
2 決定	[8キー] または [#キー] または [再生・停止キー]
3 キャンセルまたは一つ上の項目に戻る ※1階層目でキャンセルすると、メニューを終了	[2キー] または [*キー]

17章3 タイトル管理

バックアップ

DAISY図書CDや音楽CDなどをSDカードなどにバックアップすることができます。
操作方法は「14章 図書や音楽などをバックアップする」72ページを参照してください。

タイトル情報

選択中のタイトルに関する情報を聴くことができます。

<音声ガイドされる内容>

内容
カテゴリー
タイトルの使用容量
タイトルが録音された日時

<ポイント>

- 選択中のタイトルによって、音声ガイドされる内容が異なります。

タイトル選択

<タイトル選択方法の切り替え>

タイトルの選択方法を切り替えることができます。設定によるタイトルの選択方法は「7章3 タイトルを選択して聴く」46ページを参照してください。

<設定の種類>

項目	内容
すべてのメディアから 選択 (工場出荷時の設定)	本製品に接続されたメディア内のすべてのタイトルを [4キー] または [6キー] だけで選択できます。
メディアごとに選択	[タイトルキー] でメディアを選択し、[4キー] または [6キー] でメディア内にあるタイトルのみを選択できます。

<履歴タイトル一覧の消去>

履歴タイトル一覧をすべて消去することができます。履歴タイトル一覧からタイトルを選択する方法は、「7章3 タイトルを選択して聴く」46ページを参照してください。

しおり

<選択中タイトルのしおりを削除>

選択中のタイトルに付けたすべての「しおり」を削除することができます。

「13章3 しおりを削除する」70ページを参照してください。

タイトル・アルバム削除

選択中のタイトルまたはアルバムを削除することができます。

「15章 タイトル・ファイルを削除する」79ページを参照してください。

ファイル削除

選択中のファイルを削除することができます。

「15章 タイトル・ファイルを削除する」79ページを参照してください。

17章4 再生設定

シャッフル・リピート設定

タイトルを繰り返して聴くなどの設定ができます。

<設定の種類>

再生方法	設定可能なカテゴリー	概要
通常再生 (工場出荷時の設定)	全カテゴリー	先頭から最後まで再生して停止します。
タイトルリピート	図書 録音したDAISY テキスト オーディオブック	選択されたタイトルを繰り返し再生します。
トラックリピート	音楽	選択されたトラック(曲)を繰り返し再生します。
アルバムリピート	音楽	選択されたアルバムを繰り返し再生します。
オールアルバムリピート	音楽	再生中メディアのすべてのアルバムを繰り返し再生します。
シャッフルリピート	音楽	再生中メディアのすべてのトラックをシャッフルして再生します。

<ポイント>

- カテゴリーごとに別々の設定をすることができます。
- 現在のシャッフル・リピート設定は [5キー] で確認できます。
- 音楽CDを再生する場合、「オールアルバムリピート」はありません。

マルチメディア図書再生設定

音声とテキストが両方含まれているDAISY図書やEPUBを「マルチメディア図書」と呼びます。本製品ではマルチメディア図書を聴くときに、音声とテキストのどちらを再生するかを設定することができます。工場出荷時の設定は「自動」です。

<設定の種類>

項目	内容
自動 (工場出荷時の設定)	音声を優先的に再生します。音声が含まれていないときはテキストを再生します。

音声	音声を選択して再生します。
テキスト	テキストを選択して再生します。

飛ばし読み

注釈などの項目を「飛ばし読み」ができるように製作されたDAISY図書を再生する際の各種の注釈に対して、「再生する」または「飛ばし読みする」かを設定することができます。

この機能はスキップابلとも呼ばれ、「飛ばし読み」の設定がされているDAISY図書のみを利用することができます。

工場出荷時の設定は、すべての設定項目が「再生する」に設定されています。

<設定する項目と内容>

項目	内容
ページ番号	本文中に収録されているページ番号を表します。
注釈	注番号が付けられた語句に対する説明文を表します。
注釈の注番号	説明が必要な語句に対して付けられた注番号を表します。語句の右肩に付けられた数字や米印などのことです。
アノテーション	「注釈」と「サイドバー」に分類できない注や説明文を表します。
行番号	本文に添えられている行番号を表します。
サイドバー	見開きのページの左側または右側に書かれている補足説明の文を表します。
製作者注	DAISY図書の製作者が付けた説明文を表します。

<設定する方法>

「ページ番号」「注釈」「注釈の注番号」「アノテーション」「行番号」「サイドバー」「製作者注」の順番で設定し、これらすべての設定が終わると、飛ばし読み設定メニューに戻ります。

17章5 メディア管理

メディア情報

選択中のメディアに関する情報を音声でガイドします。

<音声ガイドされる内容>

内容
メディア名
ロックの状態
メディアの空き容量
メディアの総容量

<ポイント>

- 選択中のメディアによって、音声ガイドされる内容が異なります。

メディアを全消去する

SDカードやUSBメモリなどのメディアは、全消去を行うことで新しいメディアとして使用できます。

<全消去できるメディア>

内容
SDカード
USB機器のメディア

<全消去する方法>

手順	音声ガイド
1 電源入力端子に、付属の電源アダプターを接続します。	
2 USBカードリーダーに接続したメディアを全消去する場合は、あらかじめメディアをUSBカードリーダーに接続します。	
3 全消去するSDカードまたはUSB機器を本製品にセットします。	

4	[メニューキー] を押し、「メディア管理」を選択し、[#キー] で決定します。	「メディア管理」
5	「SDカード内容全消去」または「USB機器のメディア内容全消去」を選択します。	「○○内容全消去を実行しますか？」
6	[#キー] で決定します。	「決定」・・・ 「実行しました」

<注意>

- SDカードやUSB機器の内容全消去中にメディアを抜いたり、本製品の電源や接続中のUSB機器の電源を切ったりしないでください。SDカードやUSB機器が使用できなくなる場合があります。

<ポイント>

- 選択したメディアのデータはすべて消去されます。必要なデータは必ず別のメディアに保存（バックアップ）してから、メディア内容の全消去を行ってください。
- カード内容全消去には長時間が必要となる場合がありますので、必ず電源アダプターを接続して行ってください。
- SDカードの書き込み禁止スイッチが禁止側になっているとカード内容全消去を実行できません。書き込み禁止スイッチを解除側にしてください。詳しくは「6章2 SDカードについて」35ページを参照してください。
- USBメモリには書き込み禁止スイッチが搭載されたものがあります。このスイッチが禁止側になっているとメディア内容全消去を実行できません。書き込み禁止スイッチを解除側にしてください。

17章6 システム設定

ガイド音量の選択

DAISY図書や音楽等の再生音量に比べて、どの程度大きい、または小さい音でガイドするかを設定することができます。

<設定できる範囲>

設定範囲
-5~+5 (11段階)

<ポイント>

- 音量キーで再生音量を増減させると、設定された範囲でガイド音量も一緒に増減します。

ガイドスピードの選択

音声ガイドの再生スピードを設定することができます。。

<設定できる範囲>

設定範囲

0.5倍～3.0倍（0.1倍刻みで26段階）

<ポイント>

●再生スピードとガイドスピードは別々に設定することができます。

テキスト読み上げ音声の選択

本製品には日本語と英語の合成音声搭載されており、テキストを再生する際には合成音声を
用いてテキストを読み上げます。日本語のテキストファイルを読ませる場合は「日本語、さや
か」を、英語の場合は「English、Julie」を選択してください。工場出荷時の設
定は「日本語、さやか」です。

<選択できる値>

設定範囲

日本語	: さやか（工場出荷時の設定）
-----	-----------------

English	: Julie
---------	---------

待ち受け音の選択

各種処理を実行している間に流れる音楽を「待ち受け音1」「待ち受け音2」「待ち受け音な
し」から選択することができます。工場出荷時の設定は、「待ち受け音1」です。

<選択できる値>

設定範囲

待ち受け音1	（工場出荷時の設定）
--------	------------

待ち受け音2

待ち受け音なし

キー受付音の選択

キーを押した時に鳴る音（キー受付音）を消すことができます。工場出荷時は、キー受付音が鳴るように設定されています。

<選択できる値>

選択候補
キー受付音あり（工場出荷時の設定）
キー受付音なし

時計設定

例) 時計を2017年9月13日午後3時10分に設定する場合には次のように操作します。

手順	音声ガイド
1 [メニューキー] を押して、「システム設定」を選択し [#キー] で決定します。	「メニュー」「システム設定」 「決定」「項目を選択」
2 「時計設定」を選択し、[#キー] を押して決定します。	「時計設定」 「決定」「年を入力」
3 [2キー] [0キー] [1キー] [7キー] と押し、[#キー] で決定します。	「2」「0」「1」「7」 「決定」「月を入力」
4 [9キー] と押し、[#キー] を押して決定します。	「9」 「決定」「日を入力」
5 [1キー] [3キー] を押し、[#キー] で決定します。	「1」「3」 「決定」「時刻を4桁で入力」
6 [送りキー] または [戻しキー] で「午後」を選択します。	「送りキーまたは戻しキーで 午前午後を変更」「午後」
7 [3キー] [1キー] [0キー] と押し、[#キー] で決定します。	「3」「1」「0」 「決定」「午後3時10分 2 017年9月13日 水曜日」 「設定しました」

<ポイント>

- 入力した数字をクリアするには〔*キー〕を押します。もう一度〔*キー〕を押すと、ひとつ前の手順に戻ります。時計設定を中止する場合は〔メニューキー〕を押します。
- 月、日を2桁で入力する際、1から9までの数字を入力する場合、01から09と入力することも、始めの「0」を省略して入力することもできます。
- 「午前・午後」の時刻の入力は、基本的に0：00から11：59ですが、15：00のように入力した場合、午後3：00に設定されます。
- 年、月、日など音声ガイドの内容が合っていて変更する必要がない場合は、数字を入力せずに〔再生・停止キー〕または〔#キー〕で決定することも可能です。
- 時計設定をした後に、日時を確認するには、数字の〔5キー〕を長く押してください。日時と年月日が音声でガイドされます。
- 長期間使用しなかった際には、時計設定が必要になる場合があります。

テキスト読み上げの設定

テキストファイルを読み上げる際に、音程を高め読むか、低め読むかを設定することができます。音程を高くするにはピッチをプラス側に、音程を低くするにはピッチをマイナス側に設定してください。

<設定できる範囲>

設定範囲
-5～+5（11段階）

バッテリーいたわりモード

バッテリーは消耗品です。バッテリーの劣化を抑えるため工場出荷時はバッテリーいたわりモードが「ON」に設定されています。設定を「OFF」に変更することで、バッテリーの劣化は早くなりますが、満充電一回あたりの動作時間を長くできます。

バッテリーリフレッシュ

バッテリーは消耗品です。長期間使用しない場合や、使用頻度・使用量により消耗、劣化が進行します。そのような状態で使用を続けると動作時間が短くなる、バッテリーの残量ガイドが不正確になる等の症状が発生します。このような症状が発生した場合はバッテリーリフレッシュをお試しください。症状が回復する場合があります。

ただし、連続したバッテリーリフレッシュ操作は効果がなく、バッテリーが消耗するため避けてください。

<バッテリーリフレッシュの実行>

バッテリーリフレッシュを実行するには、次のように操作します。

手順		音声ガイド
1	電源アダプターを接続します。	
2	「メニューキー」を押して、「システム設定」を選択し「#キー」で決定します。	「メニュー」 「システム設定」
3	「バッテリーリフレッシュ」を選択し、「#キー」を押して決定します。	「バッテリーリフレッシュ」
4	「バッテリーリフレッシュの実行」を選択し、「#キー」で決定します。	「バッテリーリフレッシュの実行」
5	バッテリーリフレッシュの実行を確認する音声ガイドがあります。「#キー」を押すと実行されます。	「バッテリーリフレッシュを実行します」

<ポイント>

- 実行中は完了するまで電源アダプターを抜かないでください。抜いてしまうとバッテリーリフレッシュが中止されます。
- バッテリーリフレッシュは完了までに約16時間、バッテリーの状態により最長で24時間かかります。
- バッテリーリフレッシュ実行後は「5キー」で、途中経過や結果を確認できます。
- バッテリーリフレッシュを中止したい場合は、「電源キー」で電源をOFFしてください。
- バッテリーリフレッシュを効率よく行うために涼しい場所で実行してください。

<前回の実行結果>

前回のバッテリーリフレッシュの結果が確認できます。

<完了後の電源状態>

バッテリーリフレッシュが完了した後の電源の状態を設定できます。

<設定の種類>

項目	内容
電源ONのまま待機 (工場出荷時の設定)	バッテリーリフレッシュが完了後、電源をONさせた状態で待機します。いずれかのキーを押すとすぐに結果が確認できます。結果を確認したら電源をOFFしてください。
自動的に電源OFF	バッテリーリフレッシュが完了後、自動的に電源がOFFします。次回起動時に結果が音声ガイドされます。

<補正結果の初期化>

バッテリーリフレッシュを行うと、バッテリーリフレッシュを実行した際に使われていたバッテリーの状態に合わせて機器が補正されています。新品のバッテリーに交換する際は、本メニューを実行してください。しない場合は、バッテリーの残量ガイドが不正確になる場合があります。

設定の初期化

設定の初期化を実行した際に設定される項目は次のようになります。

<初期化される項目>

項目名	初期化後の設定
音量、ガイド音量	標準
再生スピード 音声ガイドスピード	標準
トーン	標準
シャッフル・リピート設定	通常再生
マルチメディア図書再生設定	自動
飛ばし読み	再生する
タイトル選択方法の切り替え	すべてのメディアから選択
テキスト読み上げ音声	日本語
待ち受け音	待ち受け音1
メニューのショートカット	削除されます
キー受付音	あり
バッテリーいたわりモード	ON
完了後の電源状態	電源ONのまま待機

<初期化されない項目>

時計設定	初期化前の時間が維持されます
SDカード、USB機器の内容	削除されません
しおり	削除されません
バッテリーリフレッシュの結果	削除されません

<ポイント>

- 新品のバッテリーに交換する際など、バッテリーリフレッシュの結果を削除したい場合は、「バッテリーリフレッシュ」のメニューから「補正結果の初期化」を行ってください。

17章7 メニューのショートカット

[0キー] から [9キー] にメニュー項目を割り当て、素早くメニュー項目に移動することができます。

数字にメニュー項目を割り当てる

例) [1キー] に「バージョン管理」の中の「プレクストークの情報」を割り当てるには次のように操作します。

手順		音声ガイド
1	「メニュー」から、「プレクストークの情報」を選択します。	「プレクストークの情報」
2	[メニューキー] を押しながら、[1キー] を長く押します。音声ガイドが流れたら、指を離してください。	「プレクストークの情報 ショートカット1設定しました」
3	[メニューキー] を押して終了します。	

<ポイント>

●手順2で、既に [1キー] に別のメニュー項目が割り当てられていた場合、「変更しますか?」という音声ガイドが流れますので、[#キー] を押して決定してください。キャンセルする場合は [*キー] を押してキャンセルしてください。

ショートカットを呼び出す

ショートカットを利用して、メニュー項目に直接移動することができます。

例) 「プレクストークの情報」に直接移動するには、次のように操作します。前もって「プレクストークの情報」に「1キー」が割り当てられているものとします。

手順		音声ガイド
1	[メニューキー] を押しながら、[1キー] を短く押します。「プレクストークの情報」と音声でガイドされます。	「ショートカット 1」 「プレクストークの情報」

18章 バッテリー

本章ではバッテリーの交換方法や充電などについてご説明します。

18章1 バッテリー交換方法

<警告>

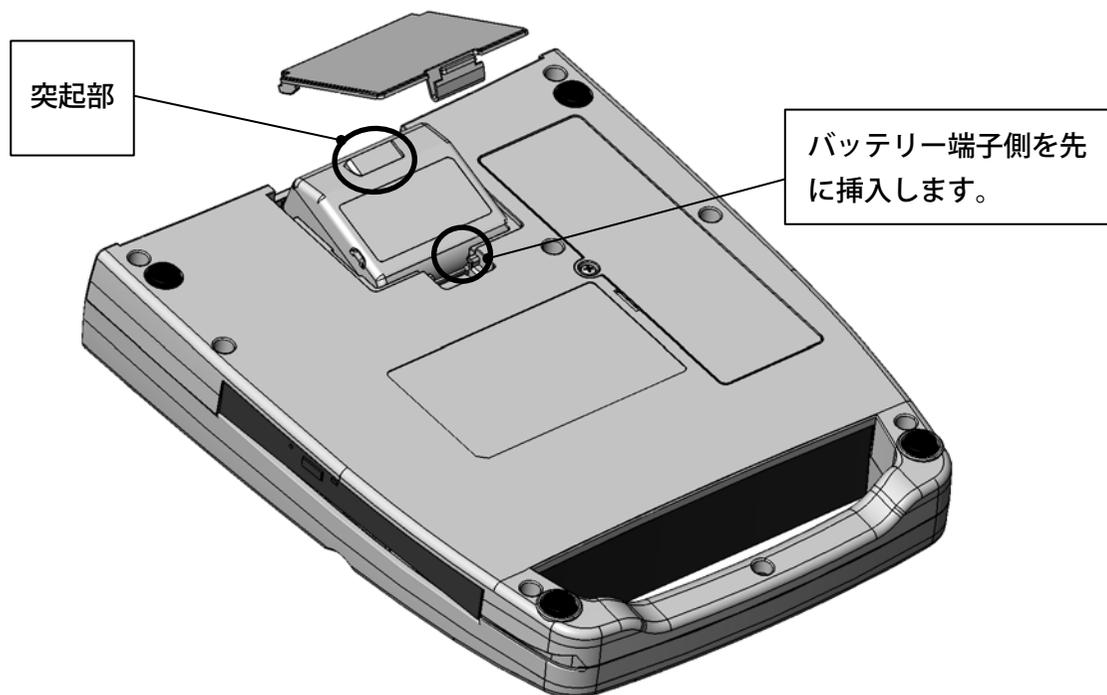
- 「2章1 安全にお使いいただくために（警告、注意）10ページをご覧くださいのうえ、バッテリーを使用してください。
- バッテリーを交換する際は、必ず電源をOFFにし、電源アダプターを取り外してください。
- バッテリーの取り扱いには特にご注意ください。落下などの衝撃によりケースや内部の電池が破損する可能性があります。
- バッテリーを挿入する際は、バッテリー端子の向きを正しく入れてください。本体側端子が破損する可能性があります。
- バッテリーケース内部にはバッテリー端子があります。接触不良の原因となりますので、ケース内部に触らないでください。

手順

- 1 電源をOFFにし、電源アダプターを取り外します。
- 2 本体をハンドルが手前にくるように裏返し、机などの上にゆっくりと置いてください。本体底面は上に向いています。
- 3 底面中央付近のくぼみにバッテリー蓋を取り外すツメがあります。片方の手で本体を押さえながら、もう一方の手でバッテリー蓋のツメを本体背面側に押し込みながら持ち上げると、バッテリー蓋が本体から外れ、バッテリーがあらわれます。
- 4 本体背面側からバッテリー表面に手を添わすと、突起があります。この突起に指をかけ、ハンドル側に持ち上げるとバッテリーを取り外すことができます。
- 5 交換するバッテリーの突起の位置を確認し、突起が上面奥側となるように持ちます。このとき、手前の面、下側中央にあるくぼみがバッテリー端子です。
- 6 バッテリー端子側を下にして、背面側からバッテリーケースに入れます。
- 7 バッテリーの突起を本体背面に向けて押すと、バッテリーを挿入することができます。挿入したバッテリーが、本体底面に対して飛び出していないことを確認します。
- 8 バッテリー蓋を、平らな面を上、ツメが手前にくるように持ちます。

9 バッテリー蓋と本体背面の間に指を挟まないように気を付けながら、バッテリー蓋を本体手前から背面に向かって、挿入したバッテリーの上を滑らせると、蓋が止まります。

10 バッテリー蓋のツメを下に押し、「カチッ」とバッテリー蓋が閉じます。



<ポイント>

●新品のバッテリーに交換する際は、「バッテリーリフレッシュ」のメニューから「補正結果の初期化」を行ってください。

18章2 バッテリーで動作させる

本製品は電源アダプターを取り外して、バッテリーのみで使用することもできます。電源アダプターを取り外す前に、十分にバッテリーを充電してください。

充電時間について

本製品の電源のON/OFFにかかわらず、電源アダプターを接続すると充電が始まります。バッテリーが満充電になるまで約3時間かかります。

また、充電中はバッテリーが発熱して、本体表面の温度が最大20℃～30℃程度上昇しますが異常ではありません。

動作時間について

電源アダプターを取り外し、バッテリーのみで動作させる場合、新品バッテリーの場合ではD A I S Y図書CDを再生できる時間は約3時間、音楽CDを再生できる時間は約2時間です。ただし、動作時間は、使用条件によって異なります。また、バッテリーの消耗により再生時間は徐々に短くなります。

バッテリーの残量の確認方法

バッテリーが「あと何%残っているか」を確認するには、次のように操作します。

手順	音声ガイド
1 電源アダプターが接続されていない状態で、[5キー]を押すと、バッテリーの残量が音声でガイドされます。	「バッテリー レベル」 「〇〇パーセント」
2 [再生・停止キー]を押すと音声ガイドが終了します。	

<ポイント>

- バッテリーの性質上、充電中に電源アダプターを取り外した直後には、正しい残量を音声ガイドできません。3分程度お待ちいただいたのちに再度ご確認ください。

自動電源OFFについて

バッテリーのみで使用しているとき、再生停止状態で操作することなく15分間経過すると、節電のため電源が自動的に切れます。

また、バッテリーレベルが低下したときには、「バッテリー不足です。残り1分で電源OFF」と音声ガイドがあり、1分後に自動的に電源が切れます。

18章3 バッテリーに関する注意

バッテリーの消耗について

バッテリーは消耗品です。使用回数を重ね、時間が経過するにつれバッテリーの容量は徐々に消耗します。当バッテリーは本製品独自のものですので、家電量販店などでは販売していません。新しいバッテリーの購入をご希望の際は、本製品を購入したお店でご購入ください。

バッテリーを長持ちさせるポイント

バッテリーの消耗を抑え、長持ちさせるためには次のことに注意してご使用ください。

- ・バッテリーは充電／放電を繰り返すと消耗します。なるべく電源に接続して、バッテリーは必要な場合のみ使用してください。
- ・バッテリーを空の状態まで使い切ると消耗します。バッテリーは、空になるまで使い切らず早めに充電してください。
- ・バッテリーは使用環境によって消耗します。温度が高い場所や、絨毯の上などの熱がこもる場所は避け、涼しい場所で使用してください。
- ・バッテリーは時間経過、保存状態によっても消耗します。常時電源に接続して、まったくバッテリーで使用しない場合は、充電してからバッテリーを取り外し、湿度の低い涼しい場所に保管してください。

バッテリーの廃棄について

廃棄の際は、使用済みのバッテリーの端子（金属部分）が露出しないように、テープを貼るなどの処理をして、自治体の指示に従って廃棄いただくか、充電式電池リサイクル協力店にご持参して廃棄してください。

バッテリーの充電について

満充電には約3時間かかります。充電時間は、使用条件によって異なります。充電しながら、使用することができます。

充電を開始すると充電LEDが赤色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。

初めて電源を接続する時や、1か月以上使用しなかった時は、内部の時計用バッテリーも充電するため、電源アダプターを接続して24時間以上通電してください。通電中も使用することができます。

長期間使用しない場合について

長期間使用しない場合、バッテリーの消耗を抑えるため3ヶ月に1回程度、満充電にして本製品でほぼ使いきり、約30分～1時間充電し、本製品からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。

バッテリーは時間の経過とともに必ず消耗し、さらに高温となる場所での保管は消耗を早める原因になります。放電し切った状態での保管や、高温となる場所での保管はしないでください。

19章 ファームウェアを更新する

ファームウェアを最新のバージョンに更新することにより、新機能をご利用いただけるようになったり、不具合が改善されたりします。

ファームウェアを更新するためには、パソコンを使用してプレクストークのホームページから最新のファームウェアをダウンロードしてください。

詳しい手順は、プレクストークホームページを参照してください。

<http://www.plextalk.com/jp/products/ptn3/download/>

<ポイント>

- ファームウェアの更新には時間がかかります。更新する場合には、必ず本製品に電源アダプターを接続してください。
- 更新中は本製品の電源を切ったり、バッテリーを取り外したりしないでください。本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。
- 最新のバージョンに更新後は、古いバージョンに戻すことはできません。
- 使用中のバージョンは [メニュー] の [プレクストークの情報] から確認できます。

20章 用語

20章1 キーワード

ここでは、本製品を操作する上で、特に重要となる用語を解説します。

<タイトル>

本製品で再生可能な個々のものを「タイトル」と呼びます。例えばひとつのDAISY図書やひとつの音楽アルバムやひとつのテキストファイルなどを「タイトル」と呼びます。

<カテゴリー>

本製品は、タイトルを選択するときに、タイトルを種類ごとに分類しています。これらの種類を「カテゴリー」と呼びます。

<メディア>

「メディア」とは、本製品で再生可能なタイトルが保存されている「入れ物」を表します。

<ファイルとフォルダ>

ファイルとは、パソコンなどで取り扱う、ひとかたまりのデータを表します。例えば、音声ファイルは音声をひとつのかたまりとしてまとめたものであり、テキストファイルは文字データをまとめたものです。

フォルダとは、これらのファイルを保存する「名前付きの場所」を表します。

<アルバム>

アルバムとは、音楽CD1枚に相当するものです。SDカードやUSB機器の場合は、音声ファイルが入っているひとつのフォルダが相当します。

20章2 カテゴリー

本製品は様々なタイトルを次の5種類の「カテゴリー」に分類します。

<図書>

「録音したDAISY」以外のDAISY図書やEPUBは「図書」に分類されます。

<録音したDAISY>

「PlexRecording」フォルダに保存されたDAISY図書を「録音したDAISY」と呼びます。当社製品「PTR3」「プレクストークポケット」「プレクストークリンクポケット」などで録音したDAISY図書は「録音したDAISY」に分類されます。

ただし、PTN3では録音できません。

<音楽>

「DAISY図書」「録音したDAISY」以外の再生可能な音声ファイルを「音楽」と呼びます。

<オーディオブック>

一般的には、MP3などのファイル形式の朗読図書などを「オーディオブック」と呼びますが、本製品では、CD、SDカード、USB機器内の「PlexAudioBook」という名前のフォルダに保存された再生可能な音声ファイルを「オーディオブック」に分類します。

<テキスト>

本製品では、文書ファイルを合成音声を用いて再生することができます。それらの文書ファイルは「テキスト」に分類されます。

20章3 メディア

本製品では次の3種類のメディアを扱うことができます。

<CD>

音楽やデータを記録するためのメディアの一種です。コンパクトディスク(Compact Disc)を省略してCDと呼びます。レーザー光線を当ててデータを読み取ります。本製品ではCDからの読み込みのみに対応します。

<SDカード>

本製品はSDカード、SDHCカードおよびSDXCカードに対応しています。本書では、これらのカードを「SDカード」と呼びます。DAISY図書や音声ファイル、テキストファイルを保存することができます。

<USB機器>

本製品は、USBメモリ、USBカードリーダーライター、外付けハードディスクドライブに対応しています。本書では、これらの製品を「USB機器」と呼びます。DAISY図書や音声ファイルなどを扱うことができます。

20章4 DAISY

<DAISY図書>

DAISY(デイジー)とは、視覚障がい者や普通の印刷物を読むことが困難な人々のために開発されたデジタル録音図書の規格です。DAISY図書とは、この規格にそって製作された図書のことを言います。DAISY図書は、デジタル録音されたデータに、セクションやページ、フレーズなどの印が付けられており、利用者は、その印によって聴きたい箇所にはばやく移動することができます。

<セクションと見出し>

DAISYでは、本の章、節、項などの切れ目となる箇所に、「見出し」と呼ばれる印が付けられます。ある見出しから、次の見出しまでのひとかたまりの音声を「セクション」と呼びます。通常、各セクションの先頭のフレーズが見出しとなります。

<フレーズ>

音声データは、息継ぎなどで一定時間、無音になった箇所で区切られています。その無音から次の無音までのひとかたまりの音声を「フレーズ」と呼びます。通常、1フレーズは数秒から十数秒程の長さになります。

<ページ>

ページとは、文字どおり本のページごとの区切りを表します。ページ番号が切り替わる箇所のフレーズに付けられています。

<グループ>

グループとは、セクション内に付けられた区切りです。図表や脚注など本文とは異なる説明箇所などに特別に付けられていることがあります。

<音声DAISY、テキストDAISY、マルチメディアDAISY>

本製品では、音声のみで製作したDAISY図書を「音声DAISY」と呼び、テキストのみで製作したDAISY図書を「テキストDAISY」と呼びます。また、音声とテキストの両方で製作したDAISY図書を「マルチメディアDAISY」と呼びます。

20章5 その他 用語解説

本書で使われている用語および関連する用語を解説します。

用語	解説
AAC	音声圧縮形式の一種です。DAISY3規格の音声ファイルフォーマットの一つとして採用されています。
DAISY ADPCM2 ファイル	DAISY図書で用いられる音声ファイルの一種です。PCの4分の1のサイズに圧縮されます。
EPUB	電子書籍の国際規格で、EPUB3はDAISY規格の配布フォーマットとして採用されています。

用語	解説
MP3	高圧縮率で高品質な音声圧縮技術、もしくはそれを使って圧縮された音声データのことです。CD品質の音声データをMP3（128kbps）に変換すると、多少音質は低下しますが、約10分の1のサイズに圧縮することができます。
PCM	音声などのアナログ信号をデジタル信号に変換する形式の一種です。音楽CDなどに用いられています。非圧縮のため音質は良いのですが、ファイルサイズが大きくなります。
SDカード	フラッシュメモリの一種です。切手ほどのサイズに加え、厚さが1mmほどしかなく、そのコンパクトさが特徴です。「SDカード」は「SDメモ리카ード」の略称です。
SDHCカード	SDカードの一種で、容量が32GBまで対応しています。
SDXCカード	SDカードの一種で、容量が2TBまで対応しています。
USB	USBは、パソコンの周辺装置を接続するための規格のひとつです。この規格のケーブルで接続された機器をUSB機器と呼びます。
オーディオブック	書籍などを読み上げて録音した録音図書ですが、DAISY図書とは保存形式が異なり、移動単位も異なります。
テキストオンリーDAISY	音声ファイルが無く、テキストファイルのみで構成されるDAISY図書のことです。
特殊ページ	特殊ページは、図書の途中や最後に付けられた特別なページのことです。図表や付録などに付けられます。
プレイリスト	拡張子名が「m3u」のファイルで、音声ファイル名を再生したい順番に1行ずつ区切って記述したものです。
前付けページ	前付けページは、本文の前に付けられたページのことです。
レベル（DAISY）	DAISY録音図書の検索時に利用するためにセクションに付ける属性のことを「レベル」と呼びます。通常、本はいくつかの章から成り立っています。また、それぞれの章の下には節、そして節の下には項があります。章がレベル1に相当し、節はレベル2、項はレベル3・・・というように、本を検索していく際の単位をレベルと表しています。レベルは1から6まで指定できます。

2 1 章 故障かなと思ったら

故障かなと思ったら、本章に記された方法で症状を確かめてください。

2 1 章 1 症状と対応のしかた

症状と対応のしかた（全般）

症状	原因	対応のしかた
電源が入らない。	バッテリーが切れている。または、バッテリー残量が少ない。	電源アダプターを接続して電源が入るか確認してください。
	バッテリーが外されている。	バッテリーを取り付ける、あるいは、電源アダプターを接続して電源が入るか確認してください。
	音量が「0」のため、電源が入ったか分かりづらい。	音量キーで音量を上げてから、電源ON/OFFを確認してください。
	ヘッドホンが接続されていて、スピーカーから音が出ない。	ヘッドホンプラグを抜いて、電源ON/OFFを確認してください。
電源が入ってもすぐに切れる。	バッテリー残量が少なくなっている。	電源アダプターを接続して電源が入るか確認してください。
電源が切れない。(すべてのキーが反応しなくなった。)	何らかの原因により操作不能の状態に陥っている。	電源キーとおやすみタイマーキーを、同時に10秒以上押し続けてから離すと電源が切れます。
バッテリーでの動作時間が短くなった。	バッテリーが消耗している。	バッテリーリフレッシュをお試しください。症状が改善する場合があります。
バッテリー残量の音声ガイドが不正確になった。	バッテリーが消耗している。	バッテリーリフレッシュをお試しください。症状が改善する場合があります。
音声ガイドが出ない。	電源が入っていない。	電源を入れてください。
	ヘッドホンが接続されている。	ヘッドホンプラグを抜いてください。
	音量が「0」になっている。	音量キーで音量を上げてください。
CDを入れることができない。	電源が入っていない。	電源を入れてからCDを入れてください。
CDを取り出すことができない。	電源が入っていない。	電源が入っているか確認してください。
	CDが正しく装着されておらず、CDが引っ掛かっている。	CDの強制排出方法をお試しください。強制排出方法は本取扱説明書の見開きのページを参照ください。

症状	原因	対応のしかた
SDカードを入れることができない。	SDカードを差し込む向きが間違っている。	SDカードを正しい方向で差し込んでください。
	既に別のSDカードが入っている。	入っているSDカードを取り出してください。
	SDカード以外のカードを入れようとしている。	SDカード以外のカードを本製品のカードスロットに入れることはできません。
SDカードを取り出すことができない。	無理に引っ張って取り出そうとしている。	SDカードを押し込むと、数ミリほど出て来ます。摘んで取り出してください。
CDを再生できない。	CDの裏表が反対になっている。	「ディスクの読み込みができません」とガイドされます。CDを裏返して入れ直してください。
	空のCDを入れている。	「ディスクの読み込みができません」とガイドされたら、そのCDには何も記録されていません。別のCDに入れ替えてください。
	光ピックアップが劣化・消耗している。	読み取り時間としておよそ2000時間が寿命の目安となります。CDを読み込みにくい症状が頻繁に発生する場合は「プレクストークお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
	PTR1やPTR2で録音したCDである。	PTR1やPTR2でCDファイナライズを実行してください。
USB機器を接続できない。	USBプラグの向きが間違っている。	上下を逆にして入れ直してください。
SDカード、USB機器などのメディアから再生できない。	対象メディアが入っていない。	対象メディアを入れてください。
	対象メディアがしっかりと差し込まれていない。	対象メディアを奥までしっかりと差し込んでください。
	空の対象メディアに再生可能なタイトルがない。	DAISY図書などが記録されているメディアを入れてください。
	本製品が対応していない方式で書き込まれたメディアが接続されている。	そのメディアを本製品で使う場合は対象メディアの「内容全消去」を行ってください。ただし、メディアに記録されていた内容はすべて消去されます。
	対象メディアが本製品に対応していない。	動作確認済メディアを使用してください。
しおりを設定できない。	現在の位置が先頭位置あるいは最後位置の場合、しおりは設定できない。	最初から少し再生した位置、または最後から少し戻した位置にしおりを設定してください。

症状	原因	対応のしかた
対象メディアにバックアップできない。	対象メディアが書き込み禁止になっている。	書き込み禁止を解除してください。
	対象メディアの空き容量が足りない。	十分な空き容量のあるメディアに交換してください。
PTR2とUSBケーブルで接続した際、PTR2に入れたCFカードを認識できない。	PTR2のUSB動作が「CDドライブ」になっている。	PTR2の「USB動作の切り替え」から「カードドライブ」に設定してください。
	正しく接続されていない。	本製品とPTR2とのUSB接続ケーブルを接続し直してください。
本製品内のDAISY図書を、CFカードへバックアップしたものが、PTR1やPTR2で再生できない、あるいは音楽（MP3）として再生されてしまう。	PTR1やPTR2で再生できるような形でバックアップができていない。	USB機器にバックアップを実行する際に、「編集準備を実行する」を選択して、バックアップしてください。
パソコンに接続しても、本製品がパソコンに認識されない。	パソコンのOSが未対応である。	パソコンのOSが「Windows 10、11」であるか確認してください。それ以外のOSには対応していません。
	本製品もしくはパソコンの電源が入っていない。	本製品とパソコン両方の電源が入っている状態で接続してください。
	USBハブを経由して接続されている。	USBハブを経由せず、パソコンと直接接続してください。
	パソコンのUSB端子が壊れている可能性がある。	パソコンにUSB端子が複数ある場合には、別のUSB端子に接続すると認識される場合があります。
	USBケーブルが長すぎる。	短いUSBケーブルを使用することで認識される場合があります。

バックアップ時の音声ガイドと対応のしかた

音声ガイド	原因	対応のしかた
「書き込み禁止メディアです」	バックアップ先のSDカードまたはUSB機器が書き込み禁止になっている。	SDカードやUSB機器の書き込み禁止を解除してください。
「メディアの空き容量が不足しています」	バックアップ先のメディアの空き容量が足りない。	不要なデータを削除してバックアップ先の空き容量を増やす、または新しいメディアに交換してください。

再生時の音声ガイドと対応のしかた

音声ガイド	原因	対応のしかた
「タイトルが選ばれていません」	SDカードやUSB機器に何も記録されていない。	DAISY図書などが記録されているSDカード、USB機器を接続してください。
「このSDカードには対応していません」 「このUSB機器に対応していません」	本製品が対応していない形式でフォーマットされている。	内容全消去を行ってから使用してください。ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。

その他の音声ガイドと対応のしかた

音声ガイド	原因	対応のしかた
「アダプター異常です」	電源アダプターに異常が起きた可能性がある。	「アダプター異常です」という音声ガイドの後、自動的に電源が切れます。電源を入れ、繰り返し発生する際は、当社お問い合わせ窓口にご連絡ください。
「バッテリーの充電に失敗しました。アダプターを取り外し、再度取り付けて下さい」	バッテリーに充電中に異常が起きた可能性がある。	電源アダプターを接続し直す、または、バッテリーを入れ直してください。繰り返し発生する際は、当社お問い合わせ窓口にご連絡ください。

音声ガイド	原因
「書き込みエラーです。(番号) - 10**」 または 「読み込みエラーです。(番号) - 21**」	SDカードの読み書き時のエラーです。 再び同じ操作をしてもエラーが起きる場合には、いったん本製品の電源を入れ直してください。 それでも改善されない場合には、最終手段としてSDカード内容全消去を行ってください。ただし、カードに記録されていた内容はすべて消去されますので、必要なデータはあらかじめパソコンにコピーした上で実行してください。
「書き込みエラーです。(番号) - 11**」 または 「読み込みエラーです。(番号) - 22**」	USB機器の読み書き時のエラーです。 再び同じ操作をしてもエラーが起きる場合には、いったん本製品を入れ直してください。 それでも改善されない場合には、最終手段としてパソコン上でUSB機器をフォーマットしてください。ただし、USB機器に記録されていた内容はすべて消去されますので、必要なデータはあらかじめパソコンにコピーした上で実行してください。

21章2 よくある質問 Q&A

質問	答え
本製品からPTR1やPTR2のCDにバックアップできますか？	本製品からPTR1やPTR2などの外付けCDドライブのCDにバックアップすることはできません。
複数のタイトルを一度にバックアップできますか？	できません。ひとつずつタイトルを選択してバックアップしてください。
本製品とPTR1やPTR2をUSBケーブルで接続した際に、入れたCDが認識されません。	CDドライブは認識できません。PTR2はカードドライブとしてご利用いただけます。
本製品をパソコンとUSBケーブルで接続した際に、リムーバブルディスクとして認識されません。	次の点を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本製品が対応しているOSは、「Windows 10、11」です。それ以外のOSには対応していません。 さらに、次を試してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ パソコンと本製品の両方の電源が入っている状態で、USB接続します。 ・ USBハブを経由して接続されている場合は、パソコンのUSB端子に直接接続します。
DAISY図書をバックアップする時に音質などを設定する必要がありますか？	設定の必要はありません。DAISY図書の音声は元のデータと同じ音質でバックアップされます。
しばらく使わずにいたらバッテリーが減っていたのですが、これは故障ですか？	故障ではありません。本製品に入れたままにしておくとしょずつ電力を消費します。長時間使わない場合は本体から外して保管してください。
DAISY図書をバックアップした際、バックアップした順番にタイトルが並んでくれないのですが、タイトルを並びかえるにはどうしたら良いのですか？	本製品は基本的にはフォルダ名で再生順を決める仕様になっています。パソコンでフォルダ名をABC順（辞書順）に変更してください。ただし、名前順に再生されない場合もあります。
PTR1やPTR2で記録したCFカードを再生することはできますか？	カードリーダーにCFカードをセットしてUSBで接続すると、本製品でCFカードの内容を再生することができます。ただし、カードリーダーやCFカードの種類によっては本製品で使えない場合があります。
PTR1のCFカードから本製品のSDカードにバックアップすることはできないのでしょうか？	PTR1はカードドライブとしての機能がありませんので、本製品と接続してもPTR1のCFカードのデータを読み込むことはできません。市販のカードリーダーにCFカードを入れて本製品に接続すればバックアップは可能になります。
パソコン用編集ソフト「PLEXTALK Recording Software」は付属しますか？	付属しません。

2 2 章 仕様

注意

- ・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- ・時間に関する数値はすべておおまかな数値です。
- ・充電時間、使用時間は、周囲の温度や使用条件によって異なります。

全般的な仕様

項目	仕様
CDローディング方式	トレイ式
対応CD	プレスCD／CD-R／CD-RW（円形のみ）
対応SDカード	SD／SDHC／SDXC規格対応
対応DAISY フォーマット	DAISY 2.0、DAISY 2.0 2、DAISY 3、 EPUB 3、プレクストークプロジェクトファイル（当社製 品にてDAISY形式で録音またはバックアップしたデー タ）
DAISY図書 再生可能データ	PCM、DAISY-ADPCM 2、MP3、AAC、 TEXT
その他対応フォーマット	MP3、ADPCM、WAV（PCM）、AAC、MP4/ m4a テキスト、HTML
音声出力	内蔵スピーカー（モノラル） ヘッドホン出力端子（ステレオ）
外部インターフェイス	USB 2.0（タイプA、タイプB各1ポート）
電源アダプター	AC 100V、50／60Hz
寸法	奥行 245mm、幅 200mm、高さ 48mm
重量	約 1200g
消費電力（最大）	最大 30W
動作温度／湿度	5℃～35℃ / 20～80％ ただし結露しないこと

オーディオ特性

項目	特性	
ヘッドホン出力端子 (ライン出力)	適合インピーダンス	32Ω不平衡
	ジャック	直径3.5mmステレオミニジャック
内蔵スピーカー	出力インピーダンス	4Ω
	出力	1.6W

主要な機能

項目	仕様
音声ガイド	操作を音声や音でガイド キー説明モードでのキー説明 メニュー説明 5キーを押した時に情報をガイド
移動単位 音声デジター	見出し、グループ、ページ、フレーズ、10分、30秒、しおり
移動単位 テキストデジター	見出し、グループ、ページ、フレーズ、段落、40行、1行、文、文字、しおり
移動単位 音楽	アルバム、トラック、10分、30秒、しおり
移動単位 テキストファイル	レベル、段落、40行、1行、文、文字、しおり
再生音量調整	0～25（26段階）
ガイド音量調整	-5～+5（11段階）
再生スピード調整	0.5～3.0（26段階）
トーン調整	-6～+6（13段階）
メモリ機能	しおり 最大1,000個／1タイトル
お気に入り登録	最大1,000件（音楽タイトルのみ）

バッテリー

項目	仕様
種類	N i - M H (ニッケル水素電池)
寸法	54mm x 57mm x 29mm
容量	1900mAh
充電時間	約3時間
使用可能時間	DAISY図書CD再生：約3時間
※周囲条件、使用条件より異なります。	音楽CD再生：約2時間
	DAISY図書SDカード再生：約3時間

カードリーダーライター仕様

項目	仕様
対応OS	Windows10、11
カードタイプ	SD/SDHC/SDXC
ファイルシステム	FAT16、FAT32、exFAT

23章 動作確認済メディア

本製品の動作確認済メディアおよびオプション品に関する情報は、

プレクストークのホームページ

<http://www.plextalk.com/jp/products/ptn3/option/>

をご覧ください。または、プレクストークお問い合わせ窓口までご連絡ください。

24章 索引

<あ行>

空き容量	89
*キー（アスタリスクキー）	24
アルバム	56, 102
アルバム削除	79
アルバムリピート	58, 87
アンドゥ	45
イジェクトキー	22
移動キー	25
移動単位	112
オーディオブック	64
音楽	56
DAISY図書	41
テキスト	62
移動を取り消す	45
SDカード	35, 103, 105, 111
SDカードの取り出し方	36
SDカードスロット	28
SDカードの入れ方	36
オーディオブック	49, 64, 103, 105
オーディオブックを聴く	64
オールアルバムリピート	58, 87
お気に入り	59, 112
送りキー	22
おやすみタイマー	65
おやすみタイマーキー	20
音楽	49, 103
音楽を聴く	55
音声ガイドされる情報一覧	66
音量キー	21

<か行>

ガイド音量	90, 112
ガイドスピード	91

書き込み禁止スイッチ	37
カテゴリー	102
カテゴリー選択	48
キー受付音	92
キー説明モード	18
機器の情報	66
基本操作ガイド音楽CD版	18
行	42, 62
グループ	41, 104
現在の日時	67

<さ行>

再生・停止キー	22
再生音量	112
再生設定	87
残量ガイド	93, 99
CD	32, 103, 111
CDドライブ	27, 33
CDのセット	34
CDの取り出し	35
CDを聴く	30
しおり	56, 64, 68, 86
しおりキー	25, 68, 76
システム設定	90
自動電源OFF	99
#キー（シャープキー）	24
シャッフルリピート	58, 87
充電時間	98, 100
ショートカット	96
スキップブル	88
すっきりカバー	23
スピードキー	21
セクション	104
接続音	29
設定の初期化	95

<た行>

対応フォーマット	111
----------------	-----

タイトル	102
タイトル管理	85
タイトルキー	21
タイトル削除	79, 86
タイトル情報	85
タイトル選択	46, 49, 86
すべてのメディアから選択	46
メディアごとに選択	46
タイトル選択方法の変更	52
タイトルの並び順	51
タイトルリピート	43, 87
タイトルを直接選択	50
ダイレクト移動	44, 63, 64
段落	42, 62
通常再生	43, 58
DAISY図書	40, 103
DAISY図書を聴く	40
データの転送	81
テキスト	49, 62, 103
テキスト読み上げ音声	91
テキスト読み上げの設定	93
テキストを聴く	62
テンキー	21, 24
電源アダプター	29
電源ON/OFF	29
電源キー	20, 29
電源入力端子	26
動作確認済みメディア	114
動作時間	99, 113
トーンキー	20
特徴	9
時計設定	92
飛ばし読み	88
トラック	56
トラックリピート	58, 87
取扱説明書	18
取扱説明書DAISY版	18
トレイ	33

<な行>

内蔵スピーカー 21, 112

<は行>

バージョンアップ 101
パーセント移動 45
パソコンと接続 80
バックアップ 16, 24, 30, 72, 85
バックアップ先のフォルダ名 78
バッテリー 26, 97, 113
バッテリーいたわりモード 93
バッテリー蓋 26
バッテリーリフレッシュ 93
補正結果の初期化 95
PTR2で再生できる形式 74
ファイル削除 79, 86
ファイルシステム 38, 113
ファイル選択 49
付属品 17
フレーズ 41, 104
文 42, 62
ページ 41, 104
ヘッドホン出力端子 28, 112
ホームキー 25

<ま行>

マイベストアルバム 76
待ち受け音 91
マルチメディア図書再生設定 87
見出し 41, 62, 64, 104
メディア 32, 102, 103
メディア管理 89
メディアごとを選択 52, 53
メディア情報 89
メディア全消去 89
メディア選択 48, 53
メニュー 84
メニューキー 25

文字	42, 62
戻しキー	22

<や行>

USB機器	38, 103
USBケーブル	80, 81, 82
USBタイプA端子	28, 39
USBタイプB端子	28
USBメモリ	38

<ら行>

リドゥ	45
利用可能なUSB機器	38
レベル	41, 62, 105
録音したDAISY	49, 102

25章 保証について

シナノケンシ株式会社は、本製品のお買い上げ日から1年間（以下「保証期間」といいます）に本製品に不具合が認められた場合には、本製品が添付の取扱説明書に従ってご使用されている場合に限り、不具合の内容や程度等を考慮して、無償にて修理あるいは交換などの対応をいたします。但し、次のような場合は、保証期間を問わず、保証の対象にはなりません。あらかじめご了承ください。

- ・ 取扱説明書に記載された警告、注意事項を守らずに使用をした場合。
- ・ 取扱説明書に記載された使用条件・方法と異なる使用をした場合。
- ・ バッテリー、電源アダプターなど、付属品以外のものを使用して破損した場合。
- ・ フロントパネル等の外面の損傷など。
- ・ 不具合の原因が不相当と思われるご使用方法である場合。
- ・ 不具合の原因が落下等の過大な衝撃である場合。
- ・ 不具合の原因が部品等の自然劣化・消耗である場合。
- ・ 不具合の原因が落雷、風水害、地震、火災、塩害、その他天災地変である場合。
- ・ 不具合の原因が本製品に接続した他の機器である場合。
- ・ 当社又は当社が指定した者以外の者(個人、事業者を含む)により改造・修理された場合。
- ・ 本製品を第三者に譲渡した場合。
- ・ 本製品より取り外した部品の修理。
- ・ 修理等のご依頼の際に保証書のご提示がない場合。
- ・ 保証書に必要事項の記載がない場合、又は保証書の文言が修正されている場合。
- ・ 本製品を日本国外で使用する、又は使用した場合。
- ・ 不具合の原因が光ピックアップ等の部品の自然劣化、消耗の場合。
- ・ バッテリーが原因の動作不良の場合。 ※ 1

※ 1 バッテリーは保証対象外です。ただし、初期不良の場合は交換などの対応をいたします。

当社は、いかなる場合においても、お客様の逸失利益、特別損害、付随的損害又はその他の結果的損害について、一切の責任を負うものではありません。また、当社の責に帰すべき理由により、お客様に損害が発生した場合であっても、当社は直接かつ通常の損害についてのみ補償し、その金額は、本製品の購入価格を上限とさせていただきます。ご記載頂いたお客様の個人情報、製品の保証・修理および履歴管理の目的以外には一切使用いたしません。

<注意>

・ 本章の記述は本製品に付属の保証書の内容に従っています。当社が保証書の文言を変更した場合は、本章の記述よりも保証書の記述が優先されます。

メディア内のデータについて

CD、SDカード、USBメディア等に記録されたデータの破損・消失については、当社は一切の責任を負うものではありません。あらかじめご了承ください。

大切なデータ（ファイル）は、他のメディアなどにバックアップすることをお勧めします。

点検・修理サービス利用規約

第1条 規約の適用

本規約は、シナノケンシ株式会社（以下「当社」といいます）が提供する点検・修理に関する各種サービス（以下「本サービス」といいます）に適用される基本的な条件を定めるものです。当社は、本規約に従ってお客様に本サービスを提供させていただきますので、あらかじめ本規約にご同意いただいた上で、本サービスのご利用をお願いします。

第2条 本サービスの対象

1. 日本国内に居住または滞在中のお客様のみを対象として、日本国内においてのみ本サービスを提供します。
2. シナノケンシ製プレクストーク製品および補聴器の内、以下の機種（以下「対象機種」といいます）を対象とします。

機種名：PTR3、PTP1/LINK、PTN3、PTP1、DR-1、PH-200

第3条 契約成立

本規約に基づく契約は、お客様が点検・修理をご依頼になる製品（以下、「依頼品」といいます）について当社修理サポート窓口にて第5条記載のサービスをお申込みになり、当社において必要事項および当該サービス提供の可否等を確認の後、当社がお客様のご依頼を承諾することをもって成立するものとします。

第4条 本サービスの目的

本サービスは、お客様が日本国内で使用する対象機種が故障した際、その箇所の機能・性能を修復することを目的として当社が提供するものであり、対象機種の保守を目的とするものではありません。

第5条 本サービスの内容

本サービスには、点検サービスと修理サービスがあります。

(1) 点検サービス

依頼品の故障・その他の状態の確認をします。また、修理サービスの提供の為に必要なサービスとなります。

(2) 修理サービス

点検サービスの結果に基づき、依頼品に生じた故障箇所、その他故障箇所に関連すると思われる箇所の修理・交換を行います。

第6条 本サービスの手続き

1. お客様が、当社修理サポート窓口にて点検サービスの利用を申し込み、当社が承諾することにより、点検サービスを開始します。
2. お客様から当社指定工場に依頼品を送付してください。
 - (1) 保証期間内で修理を依頼される場合は、「購入日、販売店名が記載された保証書」または「レシートなど購入日を証明できるもの」を依頼品に添付して、当社まで送付してください。
(※上記のいずれも添付されていない場合、保証期間内であっても有償となります。)
 - (2) 不具合の原因が付属品などに起因している場合がありますので、点検・修理を依頼される場合には付属品を必ず同梱してください。
 - (3) 依頼品をお送りいただく際は、製品に傷や破損などが発生しないように、しっかり梱包してください。不十分な梱包により、輸送中に製品が紛失あるいは破損したと考えられる場合は、依頼をお断り又は、点検・修理ができないことがあります。
3. 点検サービス後に、当社より修理サービス料の見積り金額をご連絡します。
見積りに承諾いただいた時点で修理サービスを開始します。但し、申し込み時に点検サービス後の見積り連絡が不要とご要望があった場合は、直ちに修理サービスを開始します。
4. 修理サービス後に当社から依頼品を返送します。

第7条 費用

1. 本サービスの提供にあたり、お客様にはサービス内容に応じた以下の費用をお支払いいただきます。
金額の目安については、別表をご参照ください。
 - (1) 点検サービスのみ実施する場合
(点検の結果、故障が確認できなかった場合、修理が不可能な場合を含みます)
 - ア. 点検サービス料
 - イ. 送料（往復）
 - ウ. 代引き手数料
 - (2) 点検サービスと修理サービスを実施する場合
(修理サービスを実施する場合は、点検サービス料は無償です)
 - ア. 修理サービス料
 - イ. 送料（往復）
 - ウ. 代引き手数料
2. 前項にも関わらず、第9条により無償修理の対象となる場合または、第10条により修理保証の対象となる場合には、対象となった箇所に限り無償となります。ただし、第9条および10条の保証期間内であっても、保証対象外であることが明らかとなった場合には、前項各号申し込みサービスに該当する費用をお支払いいただきます。
3. 前各項にも関わらず、当社で依頼品を廃棄する場合には、第1項各号の費用に加えて、廃棄料をお支払いいただきます。
4. 本サービスを複数台ご依頼の場合は台数分の費用をお支払いいただきます。
5. 貸出機を貸し出す場合の費用については、第16条をご確認ください。
6. 修理サービス申し込み後のキャンセルについては、第11条をご確認ください。

第8条 支払い方法

依頼品は代金引換便にて返送します。第7条記載の費用等の支払いは、依頼品の受領時に、宅配業者に

お支払いください。

第9条 無償修理

当社が発行する製品付属の保証書の適用対象となる場合は、保証書等の規定が本規約に優先して適用されます。当社は、依頼品が保証書等の規定により無償保証の対象となる場合には、保証書等の規定に従い依頼品を無償で修理等の対応をいたします。ただし、保証期間内でも、無償修理の対象とならない場合がありますので、保証書等の規定を予めよくご確認ください。また、カスタム修理サービスは無償修理の対象となりません。保証書等の無償修理の対象とならない場合は、当社は本規約に基づき有償で修理をいたします。

無償修理、有償修理の判断は、依頼品が当社に到着した日付と、依頼品の保証期間、修理内容を照らし合わせて当社で判断いたします。

第10条 修理保証

1. 当社がおこなった修理において、以下の（１）から（３）全ての条件にあてはまる場合、無償で再修理等をおこないます。
 - （１）修理完了日（当社所定の修理が完了し、依頼品をお客様にお届けした日）から6ヶ月以内に依頼品の同一部品、同一箇所の故障が生じ、同期間内に再修理の依頼があった場合（修理保証期間の6ヶ月以内に依頼品が故障しても、同一部品、同一箇所の故障でない場合は別修理となり、有償になります。）
 - （２）再修理を要すると当社が判断した場合
 - （３）使用条件や故障の原因等が、当社が発行する製品付属の保証書等の規定により保証の対象外とされていないこと
2. 前項にもかかわらず、長期使用品（当社または当社の販売店から依頼品を購入された日から起算して10年を経過した製品を指し、以下「長期使用品」といいます）は、本条の修理保証の対象にはなりません。

第11条 キャンセル等の取扱い

1. 本サービス申し込み後のキャンセル（本サービス申し込み後に9条および10条の保証対象外であることが明らかになり、キャンセルする場合を含む）は、該当する各種サービスの料金を全額お支払いいただきます。
2. 依頼品をお預かり後、お客様と連絡が取れない場合、見積りに対する回答が無いまま1ヶ月を経過した場合は、修理を行わず依頼品を返却します。この際は、点検料、送料、代引き手数料をお支払いいただきます。
3. 本サービスの料金をお支払いいただけない場合、お客様が依頼品のお受取拒否をされた場合など、お客様の都合により返却できないと当社が判断した場合は、依頼品の所有権を放棄したとみなし、当社にて処分できるものとします。その際に掛かった費用として、依頼品の点検料または修理料、送料、廃棄料、その他当社が負担した費用を請求します。また、次回より修理を含めたすべてのサービスをご提供できなくなります。

第12条 点検・修理条件

1. 依頼品の状態・状況、依頼内容、補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の在庫状況等によっては修理等ができない場合があります。
2. 標準付属品（ACアダプタ、バッテリー等）の修理はできません。交換対応のみとなります。

3. 製品の安全や機能を確保するために、最低限必要な箇所については、依頼内容にかかわらず、自社の判断で修理する場合があります。
4. 修理は電源装置や基板類などの部品単位での交換となり、電源装置や基板類などの部品に搭載されるチップやコンデンサーなど一部を除き個別に修理するものではありません。
5. 点検・修理の都合により、依頼品において各種設定の初期化や、他の製品・サービスとの連携の解除を行う場合があります。
6. 点検・修理の際は原則として、システムソフトウェアは最新版に更新します。
7. 修理の都合により、依頼品を交換、あるいは製造番号を変更する場合があります。
8. 依頼品の仕様上の品質基準を上回るご依頼には対応できません。
9. 点検・修理は当社製品の機器間および他メーカー製機器との互換性を保証するものではありません。また、互換性の保証作業はお受けできません。
10. 出張修理のご依頼は受け付けていません。
11. お客様ご自身で貼られたシールやラベル等の原状復帰できません。ケース等、外筐部品の交換の際にこれらのシール、ラベル類は修理部品として新しく用意できません。外筐部品交換後は、原則として工場出荷時の状態での返却となります。
12. お客様にて分解・改造された機器の修理・修復についてはお受けできません。

第13条 データの取扱い

お客様にてインストールされたアプリケーションや作成されたデータなどは、保存されている媒体を問わず、いかなる場合でも保証いたしません。また、点検・修理の内容によっては保存データを消去させていただく場合もありますので、点検・修理を依頼される前にお客様ご自身でのバックアップをお願いします。

第14条 修理部品等の取扱い

本サービスを長期かつ安定して提供し、環境保護等を推進するため、当社の判断により、再生部品や改良部品を使用する場合があります。また、修理用部品の単体販売および修理用部品の持ち込みによる修理はお受けできません。なお、修理の有償無償を問わず、修理により交換した依頼品の既存部品で修理後当社が占有する修理用部品の所有権は、修理をもって当社に移転するものとします。

第15条 部品保有期間

当社では依頼品の補修用性能部品の保有期間を製品ごとに定めています。この補修用性能部品の保有期間を、依頼品の本サービスの提供可能な期間とします。

また、保有期間内であっても補修用性能部品の在庫状況によっては修理できない場合があります。

第16条 貸出機の提供

お客様より依頼品をお預かりしている間に限り、以下の条件の下、送料・代引き手数料をお支払いいただくことで、当社の判断において貸出機を貸し出す場合があります。但し、当社は貸出機の提供の義務を負うものではありません。

- (1) 貸出機に関して、当社はその品質、性能を保証するものではなく、また貸出機故障により生じたいかなる損失も補償できません。
- (2) 貸出機は当社指定期日までに返却をお願いします。
- (3) お客様が貸出機の貸与期間中に破損、損傷させた場合、当該貸出機の点検・修理にかかる費用または、貸出機の新規購入代金相当額をお支払いいただきます。

- (4) 貸出機の盗難・紛失の場合には、当該貸出機の新規購入代金相当額をお支払いいただきます。
- (5) 貸出機を当社指定期日までに当社指定返却場所に返送いただけない場合は、貸出期間超過金として1,000円/日をお支払いいただきます。なお、該当貸出機の通常販売価格を上限とします。

第17条 個人情報取扱い

当社は本サービスの提供の過程で取得したお客様の個人情報について、当社ホームページ記載のプライバシーポリシーおよび以下の各号の利用目的に従い、適切に個人情報を取扱い管理します。

- (1) 修理履歴の登録
- (2) 依頼品やご注文された製品のお届けおよびお支払確認のため
- (3) 当社がお客様に有益と思われる企業・製品・サービス・イベントの情報をお届けするため
- (4) 調査のご協力のご案内、並びにその結果を報告するため
- (5) 市場情報の分析のため
- (6) カスタマーサポートサービス提供のため
- (7) その他、当社の規約等の規定に基づき利用するため

第18条 損害賠償

当社が本サービスの提供について負う責任は、当社の故意・重過失の場合を除き本規約に定める事項・内容に限られるものとし、特別な事情からお客様に生じた損害、お客様の逸失利益、第三者からお客様になされた賠償請求に基づく損害、その他お客様が依頼品または交換品の故障・不具合等により当該製品を使用できなかったことによる損害については一切の責任を負わないものとします。なお、当社が依頼品をお預かりしている期間に、汚損、破損等が生じた場合であっても、当社は原則として修理をもって対応します。

本サービスの提供に関し、当社がお客様に対して損害賠償責任を負う場合であっても、当社の故意・重過失の場合を除き、当社の責任は依頼品の価値に相当する金額を上限とします。なお、依頼品の価値は、減価償却後の残存価値、または損害発生時に市場で販売されている同等の性能の商品の価格を基準として算出するものとします。

第19条 本サービス提供の中断

当社は、以下の各号のいずれかに該当する場合、予告なく本サービスの提供の一部または全て中断させていただくことがあります。なお、本条に基づく中断により、本サービスの提供が十分になされなかった場合でも、サービスの保証期間は延長されないものとします。

- (1) 火災、天災、停電その他不可抗力による緊急事態が発生した場合、または発生すると予測される場合
- (2) 本サービス提供のための設備、システムに不具合があった場合
- (3) 本サービスを提供するために必要な人員の確保、調整ができなくなった場合
- (4) 本サービスの運用上または技術上必要と当社が判断する場合
- (5) 法令または行政からの要請にもとづく場合
- (6) その他やむを得ない事由が生じ当社が判断した場合

第20条 本サービス対象外の事項および提供の中止

1. お客様のお問い合わせが以下の各号に該当すると当社が判断した場合、本サービスの提供をお断りし、または提供を中止する場合があります。また、本条により本サービスの提供を中止した場合で

も、本サービスがすでに提供されたものと当社が判断した場合には、本サービスをご利用いただいたものとして、本サービスが有償の場合、当該サービスにかかる料金が発生します。

- (1) 当社製品に関する過剰な改善等の要望や要求
 - (2) 当社製品以外に関するお問い合わせ
 - (3) 当社製品の分解または改造を行ったことによるお問い合わせ
 - (4) 当社が想定していない使用方法に関するお問い合わせ
 - (5) 当社の別途規定する使用条件、動作環境を守らなかったことに起因する不具合についてのお問い合わせ
 - (6) 第三者の財産、プライバシー等を害する、または害する恐れのある行為や言動
 - (7) 本サービスを提供している従事者に対する誹謗中傷、または脅迫的な行為や言動
 - (8) 虚偽の内容が含まれるお問い合わせ
 - (9) 法律、法令または条令に違反する、または、違反する恐れのある行為や言動
 - (10) 本サービスの提供および運営を妨げると当社が判断した行為や言動
 - (11) その他当社が不適切と判断した行為や言動
2. お客様が以下の各号のいずれかに該当すると当社が判断した場合、前項と同様とします。
- (1) 本サービスに関して未払いの代金がある場合、または本サービスに関する代金をお支払いいただけないと判断した場合
 - (2) 合理的な理由無く、当社の指示する作業にご協力いただけない場合
 - (3) 当社および当社の関連会社とお客様が本サービスまたは当社製品に関して係争中の場合
 - (4) お客様が当社製品の所有権、使用権その他の権利を有していない場合

第21条 反社会的勢力との関係排除

お客様が反社会的勢力（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（以下「暴対法」という）第2条第2号に定義される暴力団、暴対法第2条第6号に定義される暴力団員、暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋、社会運動標榜ゴロ、政治活動標榜ゴロ、特殊知能暴力集団、暴力団密接関係者およびその他の暴力的な要求行為もしくは法的な責任を超えた不当要求を行う集団または個人）であることが判明した場合には、当社にかかる事由が生じた時点以降いつ何時においても、何等の催告を要することなく、本サービスに関する契約の全部または一部を解除できるものとします。

第22条 規約変更

お客様に予告なく当社の判断で本規約を変更させていただくことがあります。ご依頼の時点で当社ホームページ上に表示された最新の「点検・修理サービス利用規約」が適用となりますので、本サービスをご依頼いただく場合には、必ずその時点で適用される本規約を事前にご確認ください。

本規約の変更後においても、本規約の変更前にご依頼いただいた本サービスの提供については、変更前の本規約が適用されます。

別表1. 料金表（参考）

料金表につきましては、以下のURLをご覧ください。または、プレクストークお問い合わせ窓口にご確認ください。

<http://www.plextalk.com/jp/support/repair-kiyaku/>

お問い合わせについて

本製品を操作している時にトラブルが発生した場合は、まず「21章 故障かなと思ったら」を参考にしながら対処してください。それでも、解決できない場合は、プレクストークお問い合わせ窓口までお問い合わせください。

〒386-0498 長野県上田市上丸子1078

シナノケンシ株式会社

プレクストークお問い合わせ窓口

電話番号：050-5804-1177

受付時間：月曜日～金曜日 9:30～12:00 13:00～17:00

(土・日・祝日は休業)

※ 通話料金はおお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。

FAXやE-mailは、常時受け付けております。

FAX 0268-41-1961

E-mail plextalk@aspina-group.com

ホームページ <http://www.plextalk.com/jp/>

プレクストークホームページについて

プレクストークホームページでは、よくある質問やプレクストーク製品に関する最新の情報を提供しております。プレクストーク専用ホームページ

<http://www.plextalk.com/jp/>

をご利用ください。

当社は、地球環境と調和した事業活動を行うことを目標に、環境負荷の少ない製品開発に取り組んでいます。

本製品には、当社品質基準に適合したリサイクル部品を使用しています。

2024/1

127-4426907